

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成30年7月24日

目次


1 本県の経済概況	1～2
2 主な指標の動き	
(1) 個人消費	3～6
(2) 建設需要	7～9
(3) 生産活動	10～11
(4) 雇用・労働	12～14
(5) 物価	15
(6) 企業・金融	16～17
(7) 市場	18
(8) 中小企業の業況	19
3 主要経済指標	20～26
4 参考	
1 中小企業景気動向調査((公財)福島県産業振興センター)	27～30
2 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	31～35
3 景気動向指数(福島県)	36
4 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店)	37
5 月例経済報告(内閣府)	37
6 「最近の県経済動向」総合判断(福島県)	37

福島県 企画調整部 統計課



1 本県の経済概況

総合判断

前月判断から 前月据置
の変化方向 

県内の景気は、持ち直しの動きが弱まりつつある。

個別判断

概要

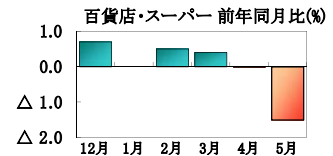
(1) 個人消費

判断の変化方向 

◆ 緩やかに減少している。

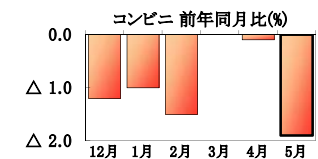
◆ 百貨店・スーパー販売額 (5月)

全店舗ベースで総額約206億円、対前年同月比1.5%減(既存店前年同月比3.7%減)となり、2か月振りに前年を下回った。



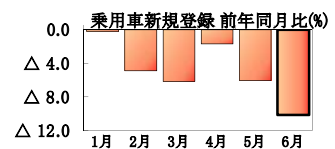
◆ コンビニエンスストア販売額 (5月)

コンビニエンスストア販売額は総額約174億円、対前年同月比1.9%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



◆ 専門量販店販売額 (5月)


家電大型専門店は総額約33億円(対前年同月比8.6%減)、ドラッグストアは総額約71億円(同2.6%増)、ホームセンターは総額約61億円(同5.1%減)となっている。



◆ 乗用車新規登録台数 (6月)

新規登録台数は5,992台、対前年同月比10.1%減となり、9か月連続で前年を下回っている。

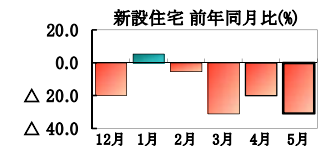
(2) 建設需要

判断の変化方向 

◆ 高水準ながらも、弱含んでいる。

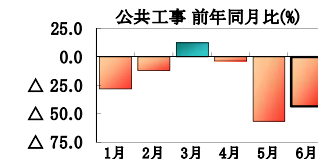
◆ 新設住宅着工戸数 (5月)

新設住宅着工戸数は740戸、対前年同月比30.7%減となり、4か月連続で前年を下回っている。



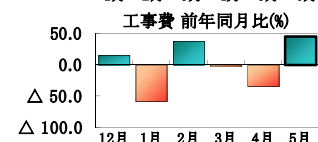
◆ 公共工事請負金額 (6月)

公共工事請負金額は総額約538億円、対前年同月比43.4%減となり、3か月連続で前年を下回っている。




◆ 業務用建築物着工工事費 (5月)

業務用建築物着工工事費は総額約123億円、対前年同月比45.1%増となり、3か月振りに前年を上回った。



(3) 生産活動

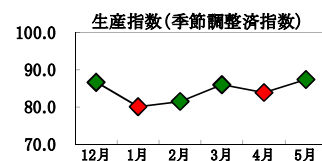
判断の変化方向 

◆ 持ち直しの動きが続いている。

◆ 鉱工業指数 (5月)

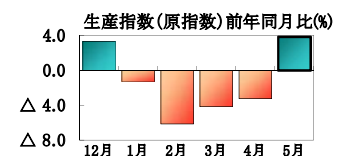
鉱工業生産指数・季節調整済指数(速報値)は87.4、対前月比4.2%増となり、2か月振りに前月を上回った。

なお、原指数(速報値)は83.6、対前年同月比3.9%増となり、5か月振りに前年を上回った。

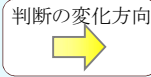


鉱工業出荷指数(季節調整済指数・速報値)は83.9、対前月比3.7%増となり、2か月振りに前月を上回った。

鉱工業在庫指数(季節調整済指数・速報値)は100.0、対前月比0.0%となっている。



(4) 雇用・労働



◆ 改善が続くものの、一部に弱い動きがみられる。

◆ 求人倍率 (5月)

新規求人倍率は**2.05倍**(季節調整値)、前月と同水準となっている。

有効求人倍率は**1.51倍**(季節調整値)、前月から**0.02ポイント減少**し、3か月振りに前月を下回った。

なお、有効求人数は4か月振りに前年を上回り、有効求職者数は7か月連続で前年を下回っている。

◆ 雇用保険受給者実人員 (5月)

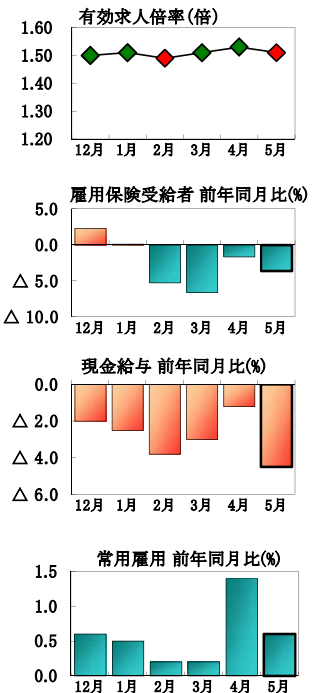
雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員は**6,647人**、対前年同月比**3.6%減**となり、4か月連続で前年を下回っている。

◆ 労働 (5月)

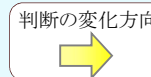
現金給与総額指数は**82.3**(事業所規模5人以上)、対前年同月比**4.5%減**となり、10か月連続で前年を下回っている。なお、事業所規模30人以上は84.5、対前年同月比**2.2%減**となった。

所定外労働時間指数は**88.5**、対前年同月比**1.8%増**となり、5か月連続で前年を上回っている。

常用雇用指数は**102.0**、対前年同月比**0.6%増**となり、平成28年9月以降、前年を上回る動きが続いている。



(5) 物 価



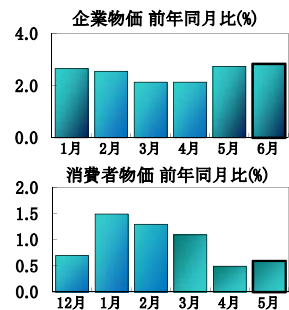
◆ 企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回る動きが続いている。

◆ 国内企業物価指数 (6月)

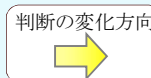
物価指数は**101.3**(速報値)、対前年同月比**2.8%増**となり、平成29年1月以降、前年を上回る動きが続いている。なお、対前月比は**0.2%増**となっている。

◆ 福島市消費者物価指数 (5月)

物価指数は**101.1**、対前年同月比**0.6%増**となり、平成28年11月以降、前年を上回る動きが続いている。なお、対前月比は**0.3%増**となっている。



(6) 企業・金融



◆ 企業倒産件数は前年を上回ったが、負債総額は前年を下回った。預金残高は前年を下回ったが、貸出残高は前年を上回った。

◆ 企業倒産 (6月)

倒産件数は**9件**、対前年同月比**12.5%増**となり、3か月連続で前年を上回っている。

負債総額は**3億9,700万円**、対前年同月比**77.8%減**となり、2か月連続で前年を下回っている。

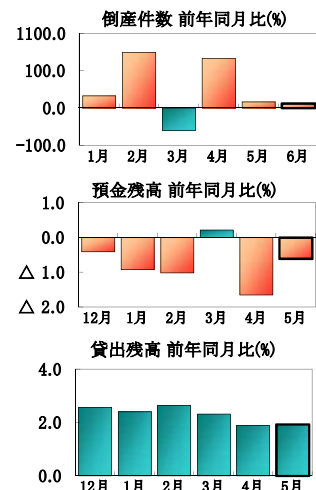
◆ 金融機関預貸残高 (5月)

預金残高は**9兆9,191億円**、対前年同月比**0.6%減**となり、2か月連続で前年を下回っている。

貸出残高は**4兆5,404億円**、対前年同月比**1.9%増**となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。

◆ 貸出約定平均金利 (5月)

平均金利は**0.870%**となり、前月より**0.006ポイント**下降し、6か月連続で前月を下回っている。



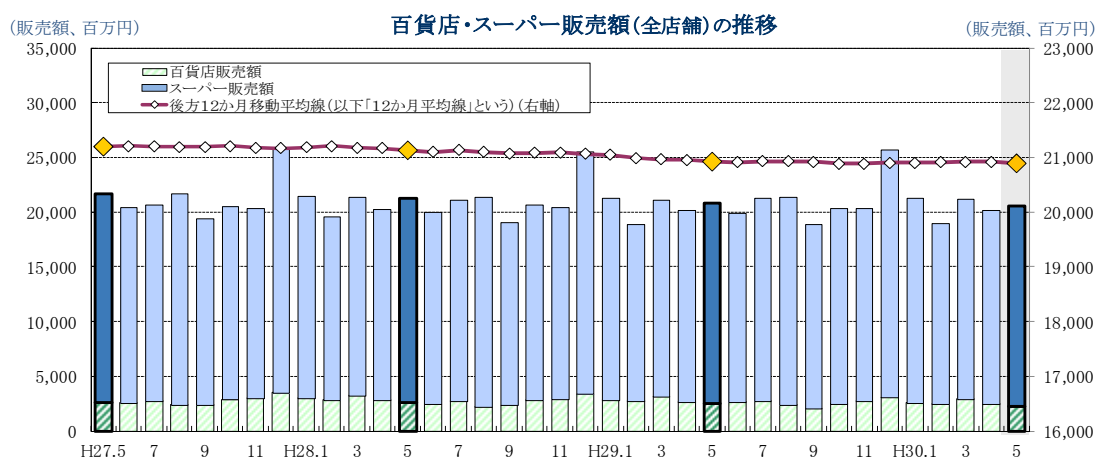
※備考 指標名の色について、前年と比較(求人倍率については、前月と比較)して、改善している指標は緑字、悪化している指標は赤字、同水準である、または個別には判断のつかない指標は灰色で表しています。

2 主な指標の動き

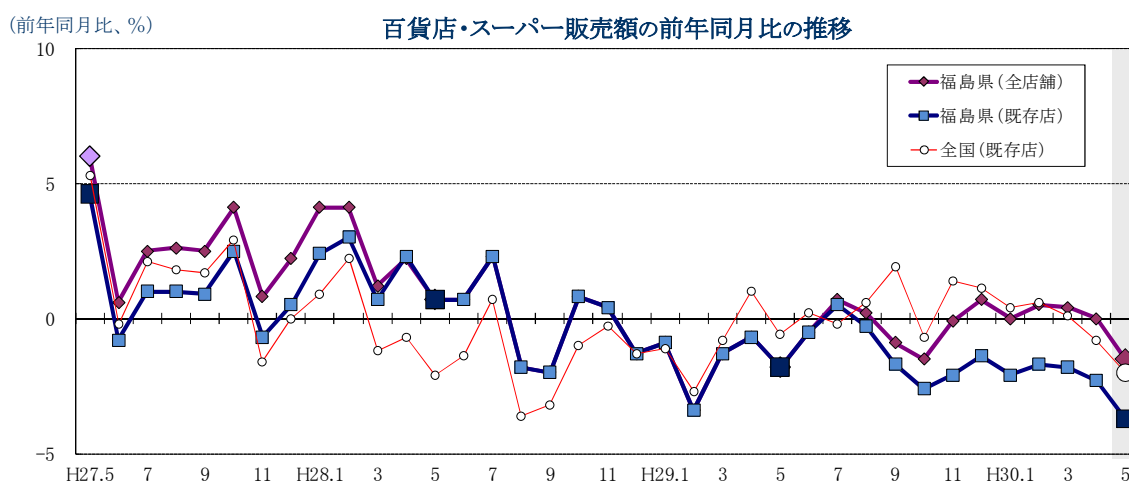
(1) 個人消費

◆ 百貨店・スーパー販売額(5月)は全店舗ベースで総額約206億円、対前年同月比1.5%減となり、2か月振りに前年を下回った。

内訳をみると、百貨店は前年同月比9.6%減、スーパーは同0.3%減となっている。なお、百貨店・スーパー販売額の既存店ベースは同3.7%減で、内訳は百貨店が同9.6%減、スーパーが同2.9%減となっている。



(資料 経済産業省)



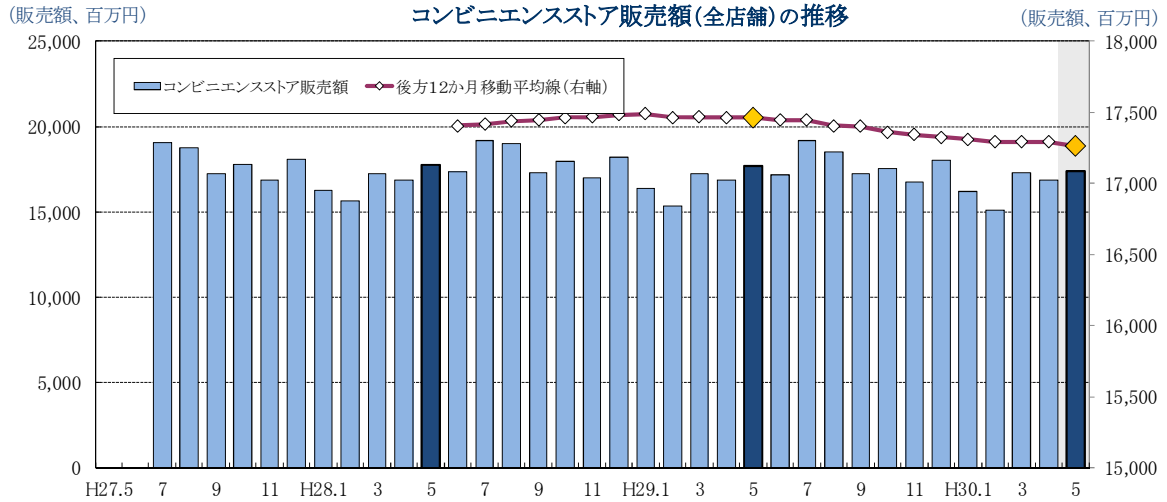
(資料 経済産業省)

【百貨店・スーパー販売額(旧大型小売店販売額)】

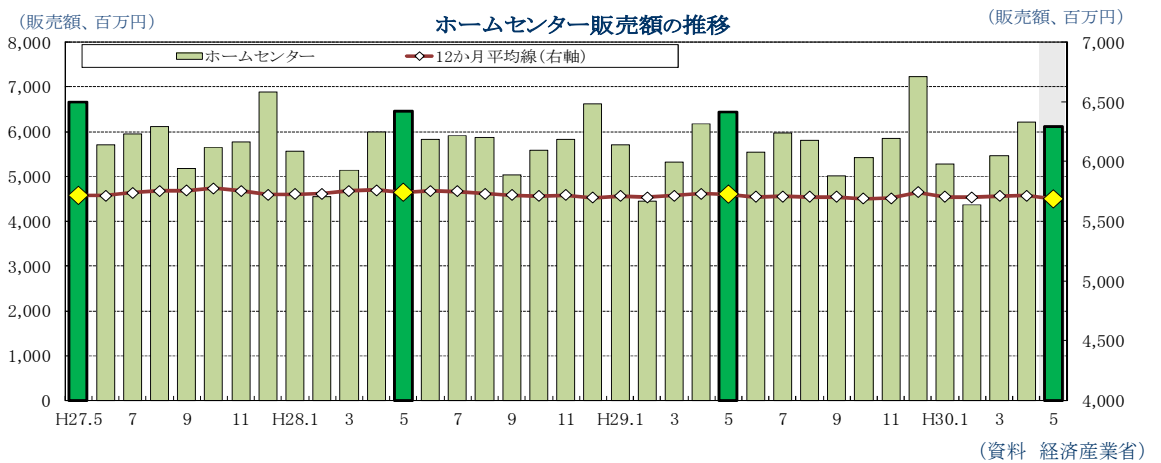
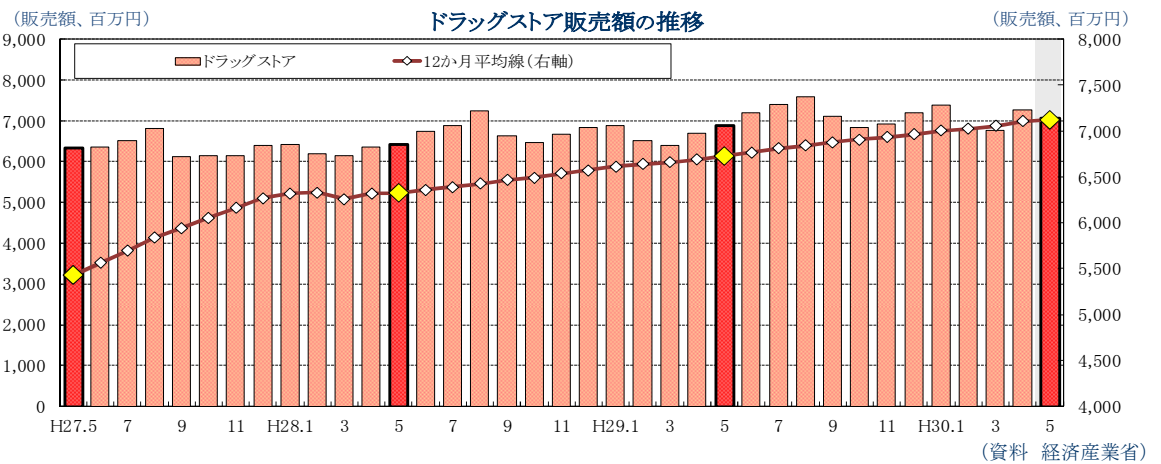
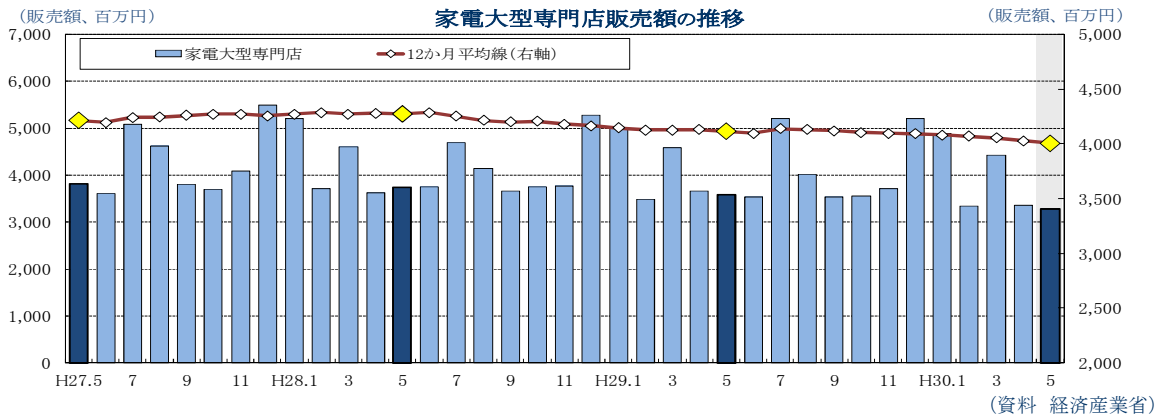
調査対象となる百貨店3店とスーパー94店(5月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれていますので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

なお、平成27年7月分から、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターとの重複是正を行ったため、平成27年6月分以前の月間販売額などとの間に不連続が生じています。なお、前年(同期、同月)比は、ギャップ調整のためリンク係数で処理した数値で計算しています。

◆ コンビニエンスストア販売額(5月)は総額約174億円、対前年同月比1.9%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



◆ 専門量販店販売額(5月)は家電大型専門店が総額約33億円、対前年同月比8.6%減となり、10か月連続で前年を下回っている。
 ドラッグストアは総額約71億円、対前年同月比は2.6%増となり、平成28年4月以降前年を上回る動きが続いている。
 ホームセンターは総額約61億円、対前年同月比5.1%減となり、3か月振りに前年を下回った。

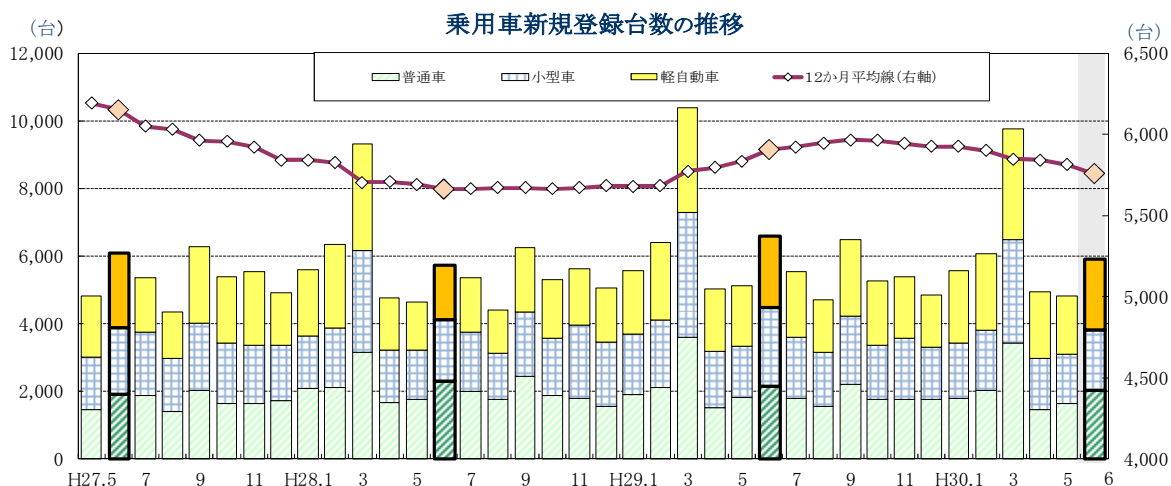


【専門量販店販売額】

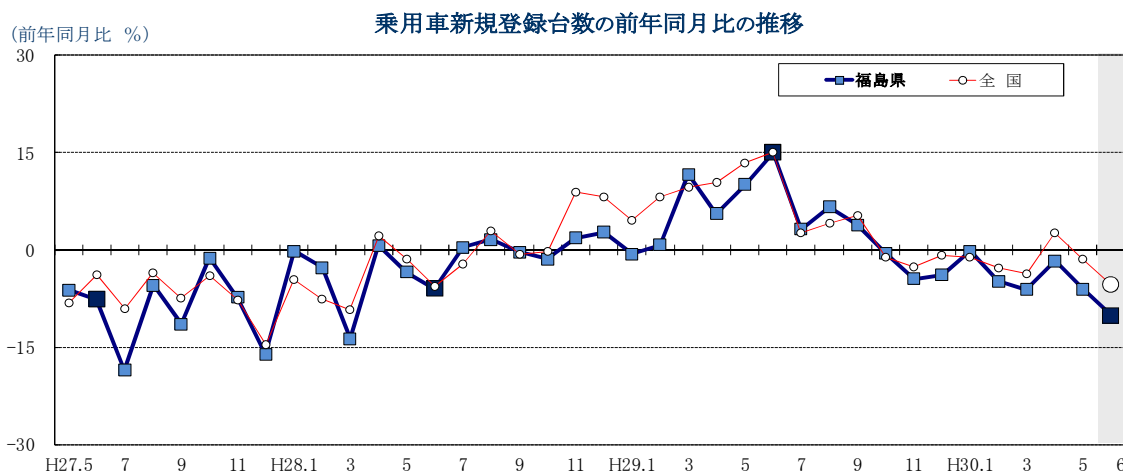
家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター販売額は、平成26年1月分から「専門量販店販売統計」として開始された統計です。家電大型専門店は比較的高額な耐久財を扱っていたり、ドラッグストアやホームセンターは家庭用品や日用雑貨等多品目を扱っていたりと消費者の生活にあわせた商品を販売しているため、消費動向をみるうえで注目される指標となってきています。

◆ 乗用車新規登録台数(6月)は5,992台、対前年同月比10.1%減となり、9か月連続で前年を下回っている。

内訳をみると、全車種で前年を下回った。



(資料 東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)



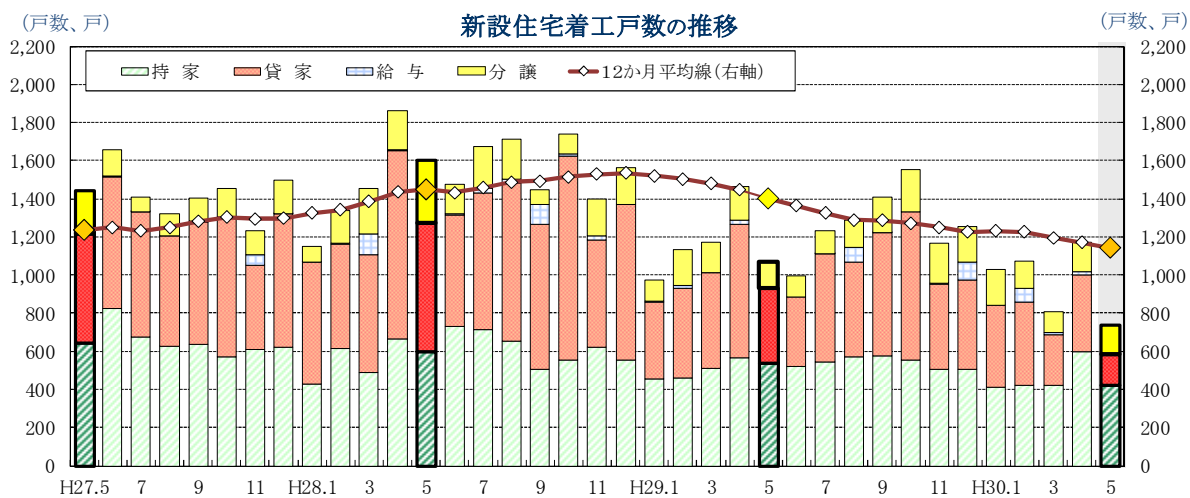
(資料 東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)

【乗用車新規登録台数】

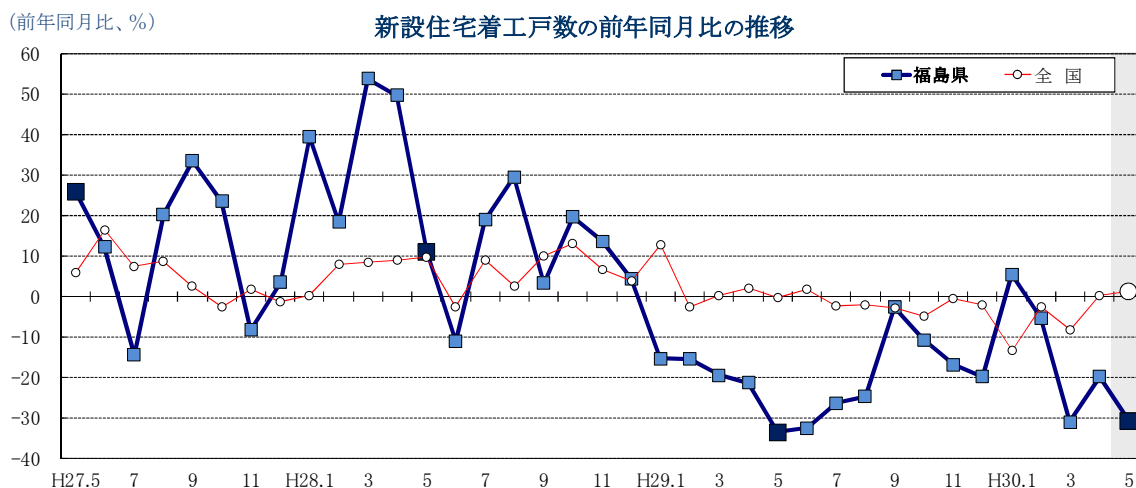
乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

(2) 建設需要

◆ 新設住宅着工戸数(5月)は740戸、対前年同月比30.7%減となり、4か月連続で前年を下回っている。



(資料 国土交通省)

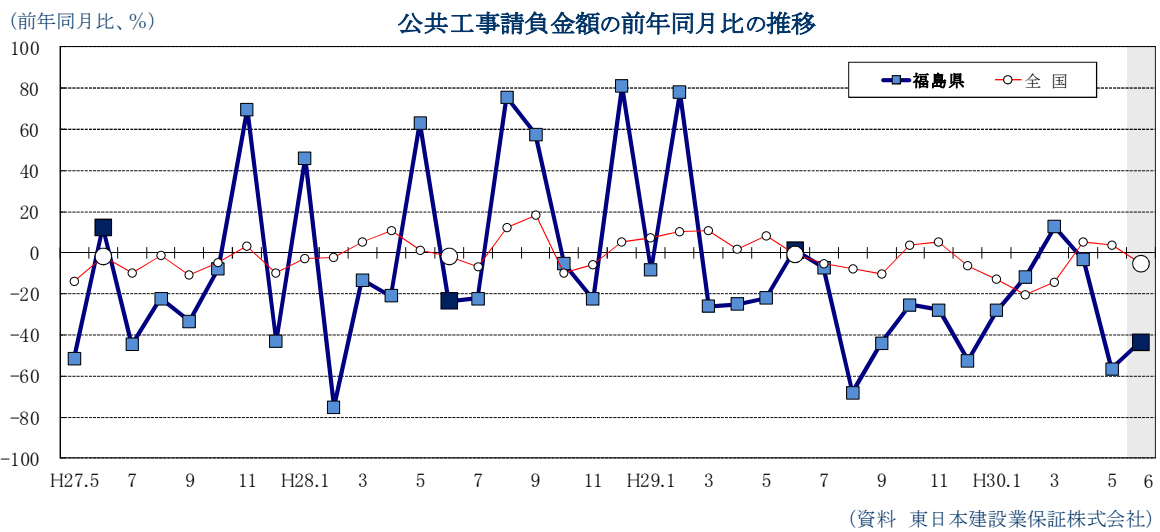
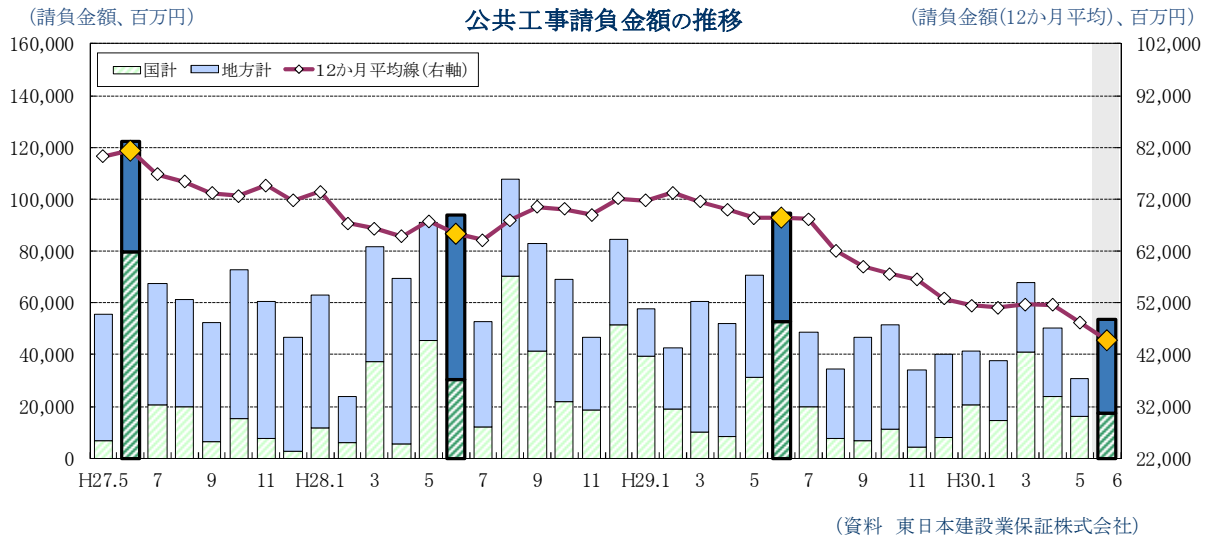


(資料 国土交通省)

【新設住宅着工戸数】

家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事にその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。

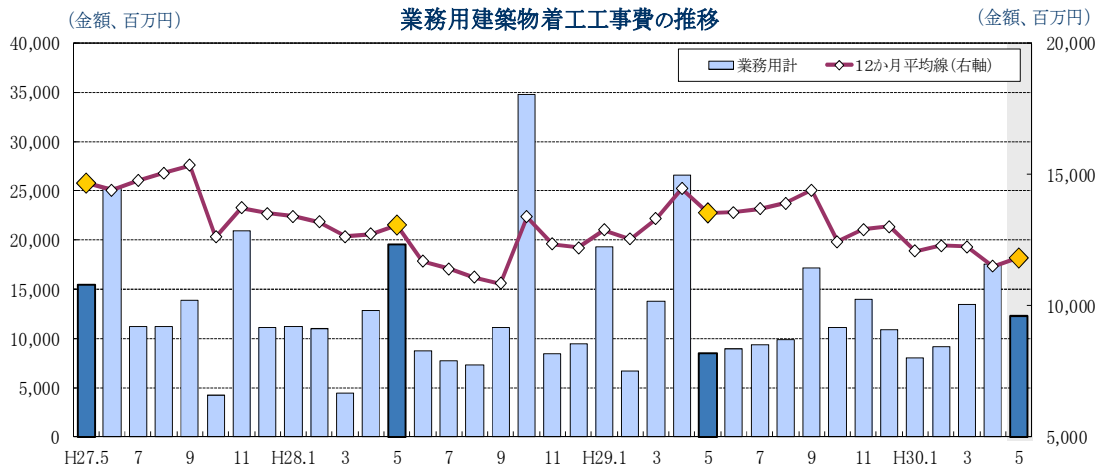
◆ **公共工事請負金額(6月)**は総額約538億円、対前年同月比**43.4%減**となり、**3か月連続**で前年を下回っている。
 内訳をみると、国の機関は2か月連続で、地方の機関は5か月連続で前年を下回っている。



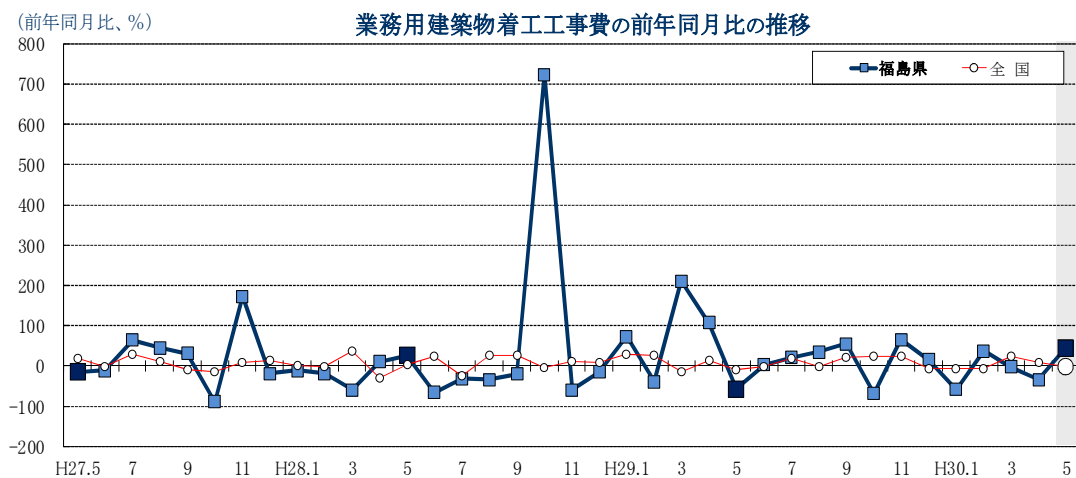
【公共工事請負額】

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

◆ 業務用建築物着工工事費(5月)は総額約123億円、対前年同月比45.1%増となり、3か月振りに前年を上回っている。



(資料 国土交通省)



(資料 国土交通省)

【業務用建築予定金額】

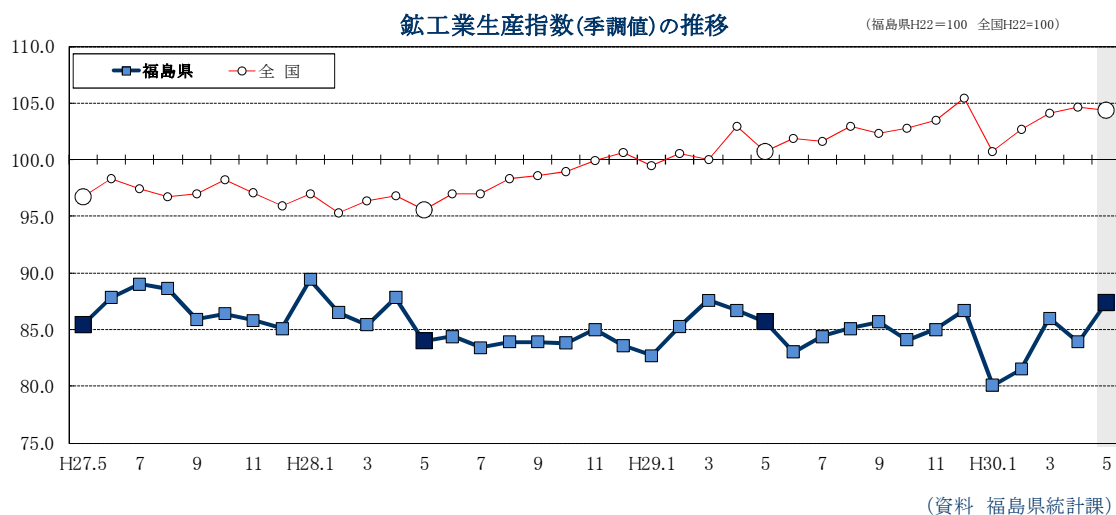
建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならない。この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

(3) 生産活動

◆ **鉱工業生産指数(5月)**は季節調整済指数**87.4**(速報値)、対前月比**4.2%増**となり、2か月振りに前月を上回った。業種別にみると、19業種のうち輸送機械工業や窯業・土石製品工業などの8業種で前月を下回ったものの、化学工業やはん用・生産用・業務用機械工業などの11業種で前月を上回った。
 なお、**原指数**は**83.6**(速報値)、対前年同月比**3.9%増**となり、5か月振りに前年を上回った。

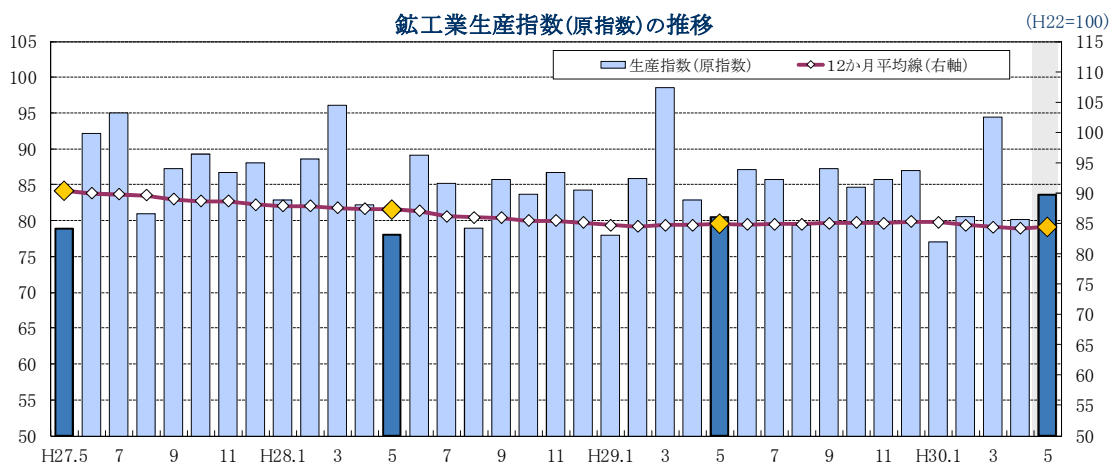
◆ **鉱工業出荷指数(5月)**は季節調整済指数**83.9**(速報値)、対前月比**3.7%増**となり、2か月振りに前月を上回った。業種別にみると、19業種のうち化学工業や電気機械工業などの12業種で前月を上回った。
 なお、**原指数**は**80.1**(速報値)、対前年同月比**3.0%増**となり、4か月振りに前年を上回った。

◆ **鉱工業在庫指数(5月)**は季節調整済指数**100.0**(速報値)、対前月比**0.0%**となった。
 なお、**原指数**は**97.2**(速報値)、対前年同月比**6.0%増**となり、3か月連続で前年を上回っている。

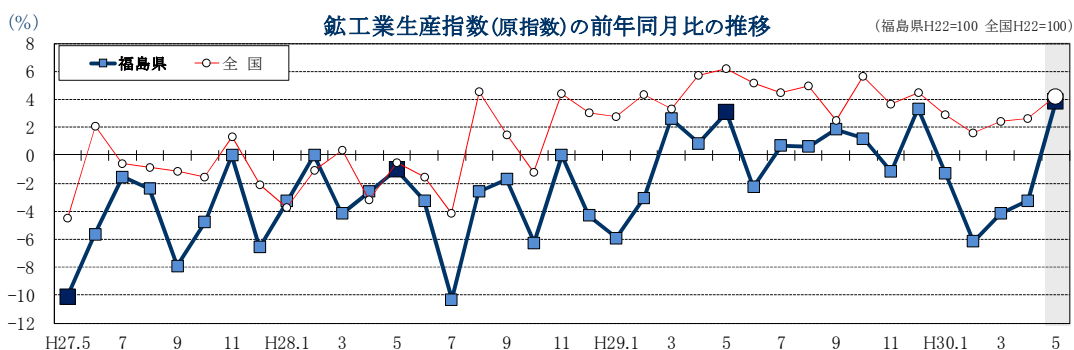


【鉱工業指数】

鉱工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(平成22年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。



(資料 福島県統計課)



(資料 福島県統計課)

【原指数と季節調整済指数】

鉱工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

【前月比と前年同月比】

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向(瞬間風速)を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計(例:金利等)では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

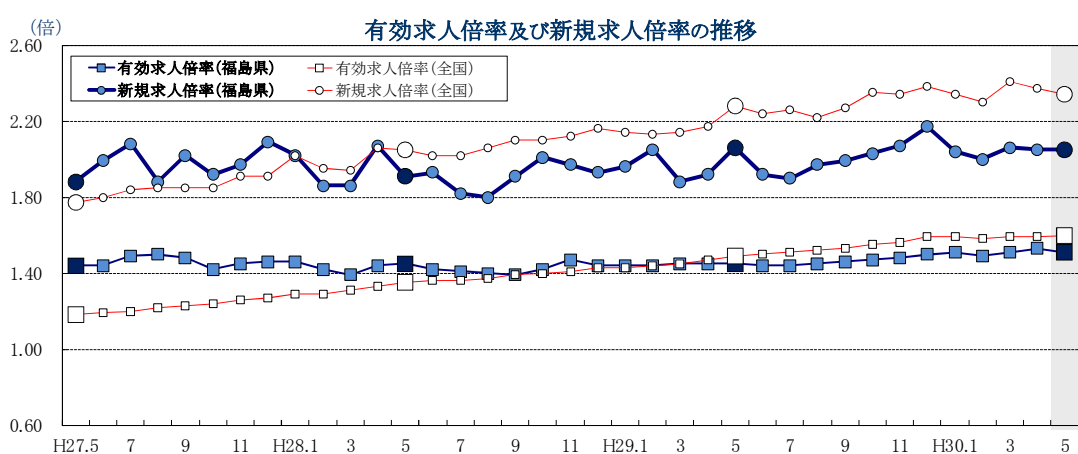
鉱工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で直近の動きをみるというように複合的に利用します。

(4) 雇用・労働

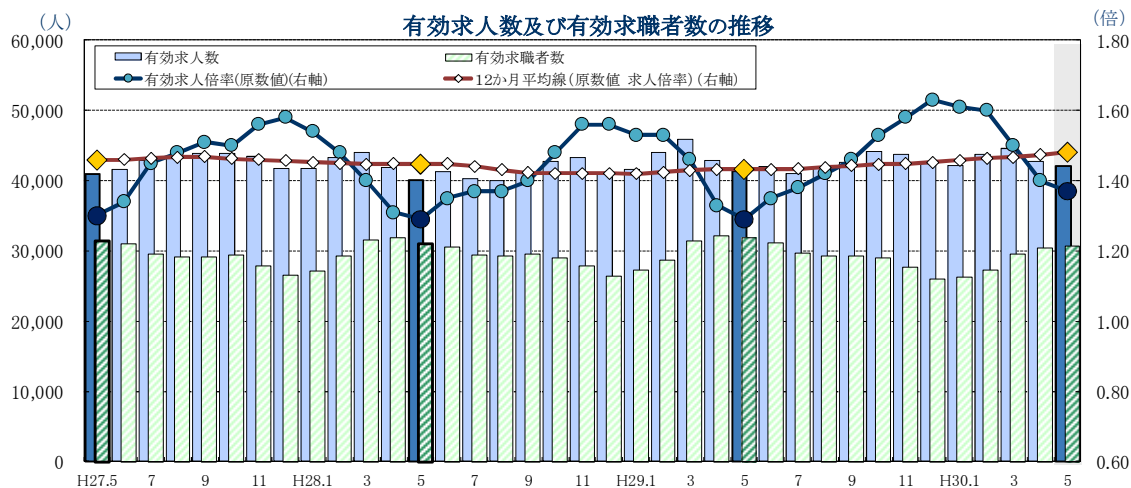
◆ 新規求人倍率(5月)は2.05倍(季節調整値)、前月と同水準となった。

◆ 有効求人倍率(5月)は1.51倍(季節調整値)、前月から0.02ポイント減少し、3か月振りに前月を下回った。

なお、有効求人数は42,045人(対前年同月比1.6%増)となり、4か月振りに前年を上回った。一方、有効求職者数は30,802人(同3.6%減)となり、7か月連続で前年を下回っている。



(資料 厚生労働省、福島労働局)

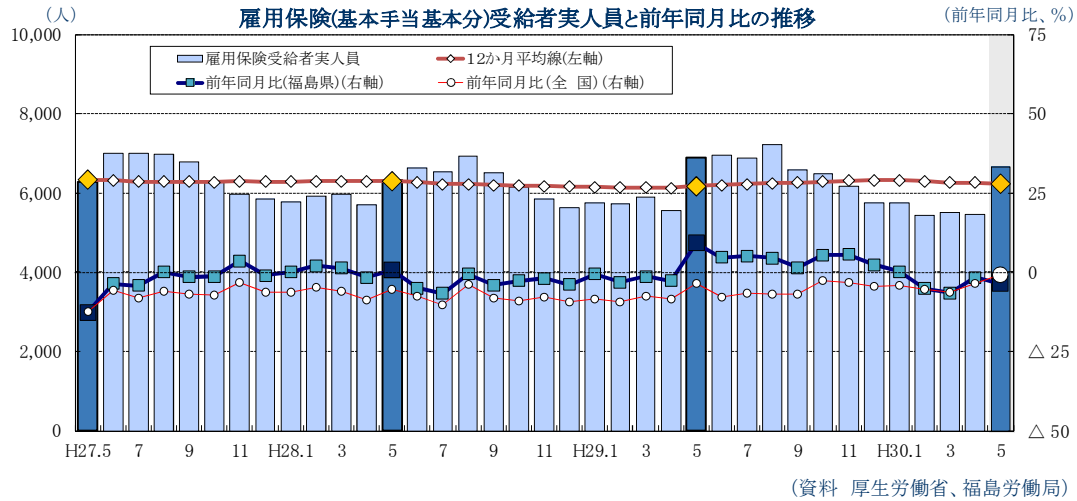


(資料 厚生労働省、福島労働局)

【新規求人倍率と有効求人倍率】

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

◆ 雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員(5月)は6,647人、対前年同月比3.6%減となり、4か月連続で前年を下回っている。



【雇用保険受給者実人員】

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きます。

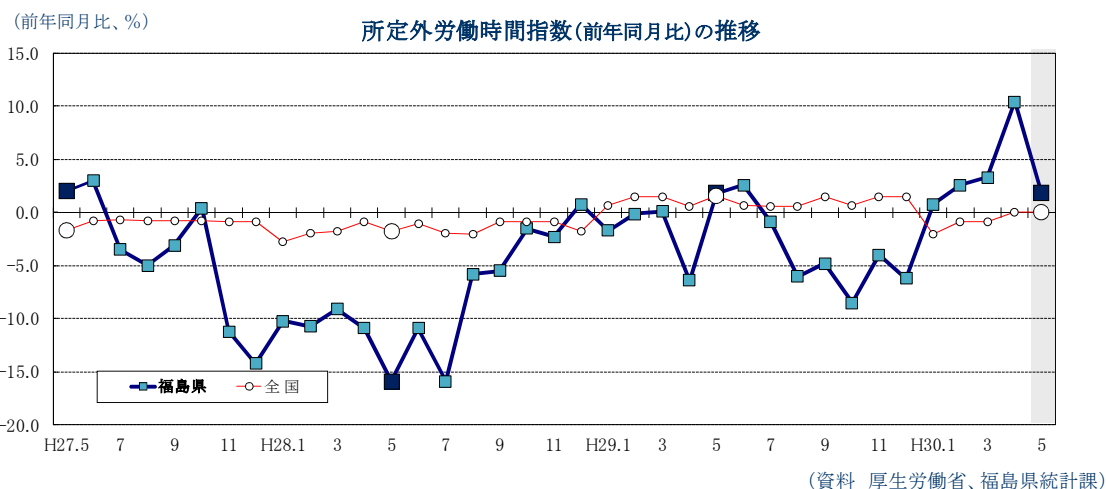
◆ 現金給与総額指数(名目)(5月)は82.3(事業所規模5人以上)、対前年同月比4.5%減となり、10か月連続で前年を下回っている。なお、事業所規模30人以上は84.5、対前年同月比2.2%減となった。



【現金給与総額指数】

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払った給与すべてを合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみる必要があります。

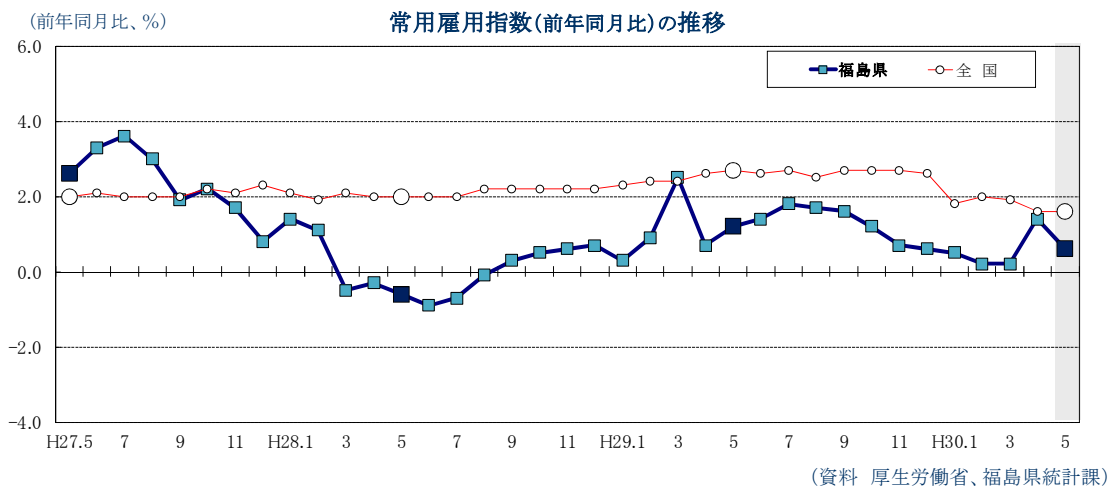
◆ 所定外労働時間指数(5月)は88.5、対前年同月比1.8%増となり、5か月連続で前年を上回っている。



【所定外労働時間指数】

所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加で対応することから、景気に敏感に反応します。

◆ 常用雇用指数(5月)は102.0、対前年同月比0.6%増となり、平成28年9月以降、前年を上回る動きが続いている。



【常用雇用指数】

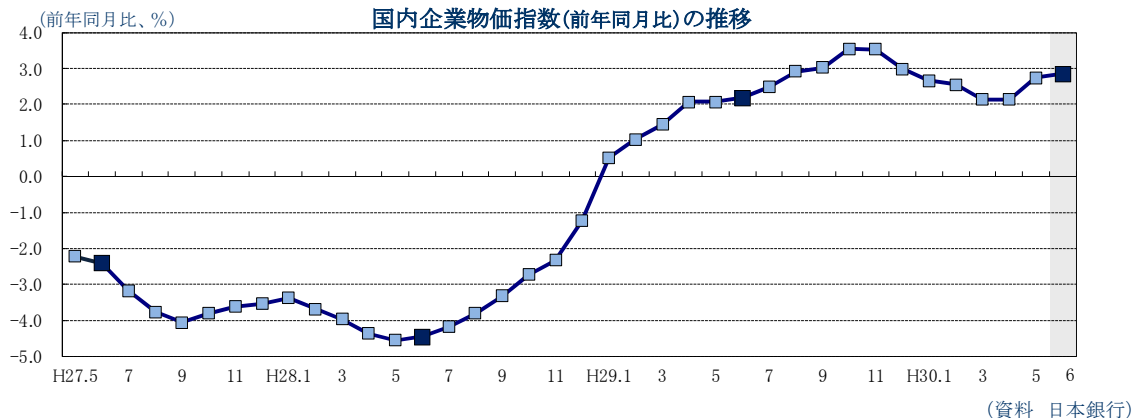
常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含み、基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

< 毎月勤労統計(常用労働者)…次のいずれかに該当する者 >

- ① 期間を定めずに、又は1か月を超える期間を定めて雇われている
 - ② 日々又は1か月以内の期間を定めて雇われている者のうち、調査期間の前2か月にそれぞれ18日以上雇い入れられた者
- < 雇用保険の適用条件 >
- ① 1週間の所定労働時間が20時間以上
 - ② 31日以上の雇用見込みがある

(5) 物価

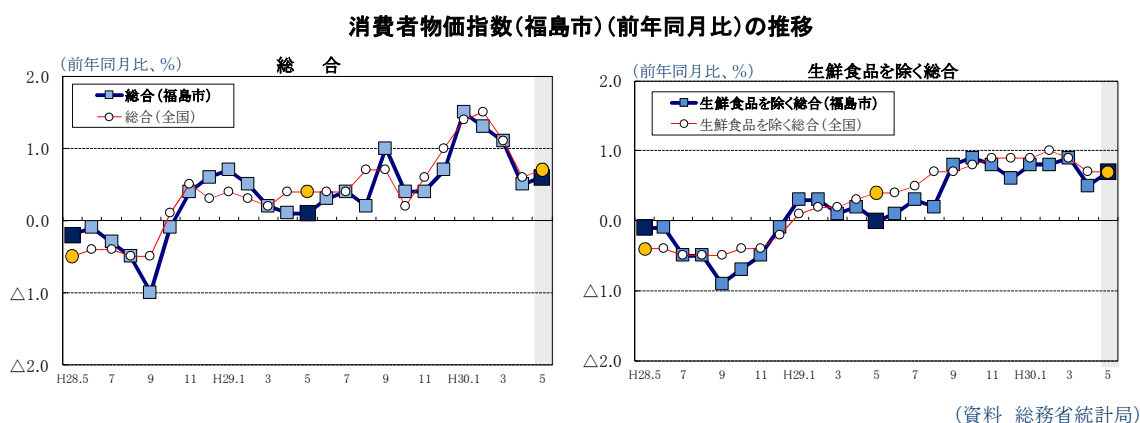
- ◆ 国内企業物価指数(6月)は101.3(速報値)、対前年同月比2.8%増となり、平成29年1月以降前年を上回る動きが続いている。
 なお、対前月比は0.2%増となっている。



【国内企業物価指数】

出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

- ◆ 福島市消費者物価指数(総合)(5月)は101.1、対前年同月比0.6%増となり、平成28年11月以降前年を上回る動きが続いている。
 なお、対前月比は0.3%増となっている。
 生鮮食品を除く総合では100.9、対前年同月比は0.7%増となっている。
 また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合では100.9、対前年同月比は0.3%増となっている。



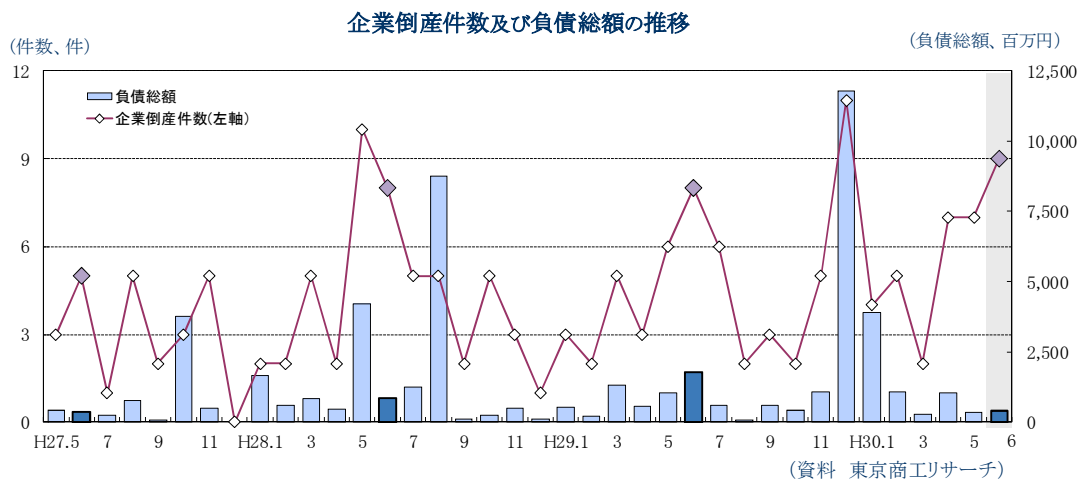
【消費者物価指数】

消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100(平成27年=100)とし、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向が見えにくくなるため「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすこともあります。

(6) 企業・金融

◆ **企業倒産(6月)**は、件数が**9件**、対前年同月比**12.5%増**となり、**3か月連続**で前年を上回っている。また、負債総額は**3億9,700万円**、対前年同月比**77.8%減**となり、**2か月連続**で前年を下回っている。

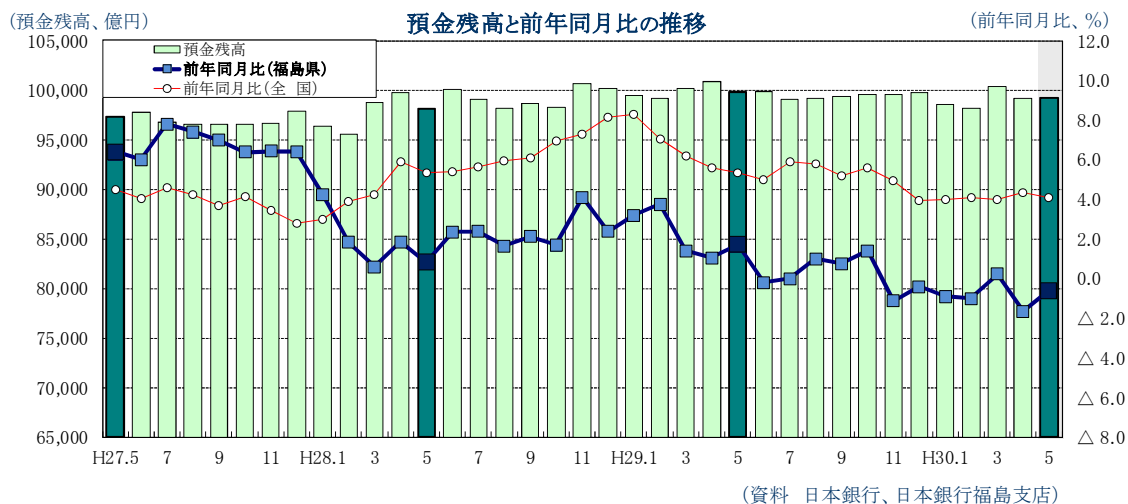
倒産件数を業種別にみると、サービス業他が4件、建設業が2件、製造業、卸売業、小売業が各1件となっている。



【企業倒産】

法的な定義はなく、官庁統計に集計したものではありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理(破産や会社更生手続、民事再生手続等)」と「任意整理(銀行取引停止処分、内整理)」の大きく2つに分けることができます。

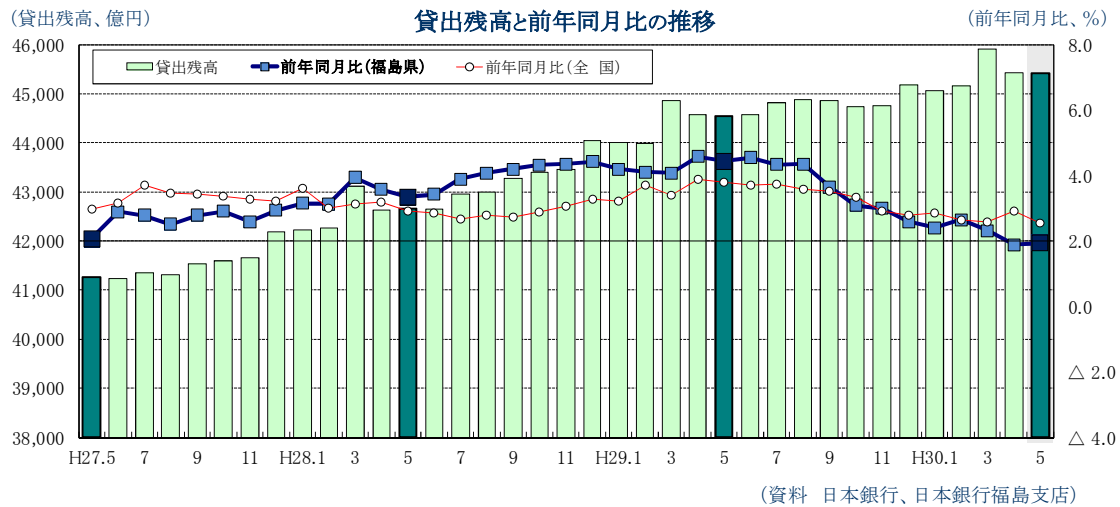
◆ **預金残高(5月)**は総額**9兆9,191億円**、対前年同月比**0.6%減**となり、**2か月連続**で前年を下回っている。



【預金残高】

預金残高の増減は金融機関の信用力と関係し、経営破綻が相次いで信用不安が起これば、預金が出流します。法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します(増加する場合は、前文と逆のことが言えます)。

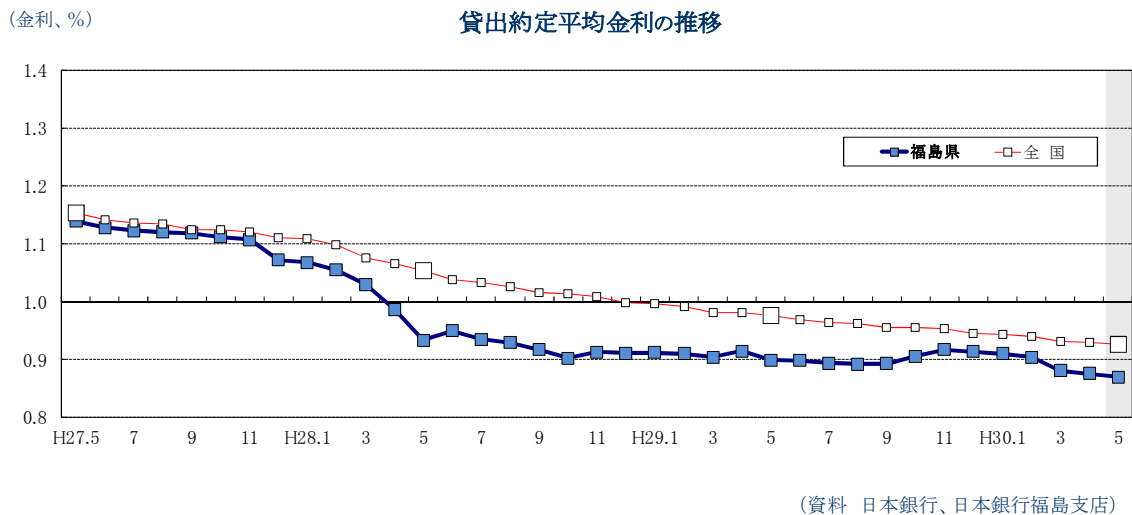
◆ 貸出残高(5月)は総額4兆5,404億円、対前年同月比1.9%増となり、平成25年6月以降前年を上回る動きが続いている。



【貸出残高】

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

◆ 貸出約定平均金利(5月)は、0.870%、対前月差0.006ポイント下降し、6か月連続で前月を下回っている。

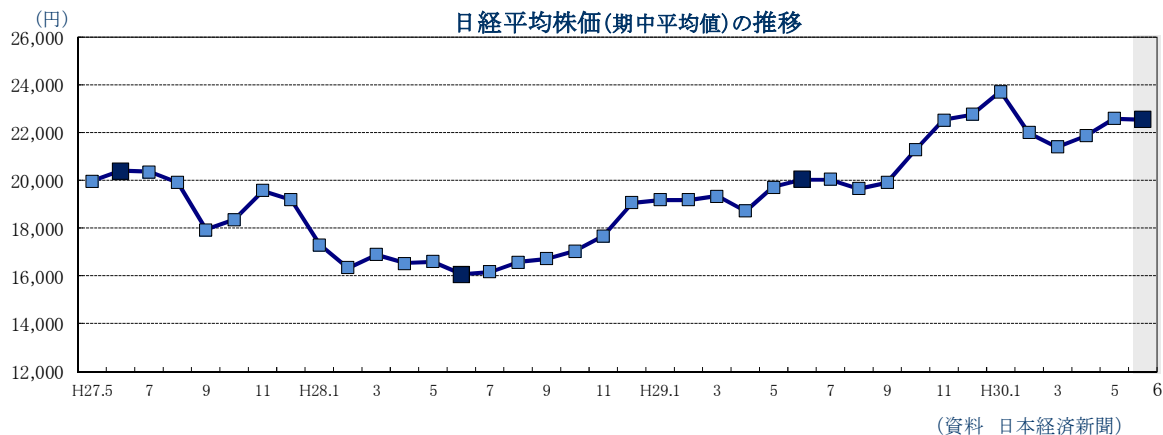


【貸出約定平均金利】

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したもので、銀行融資の金利を示す指標です。

(7) 市場

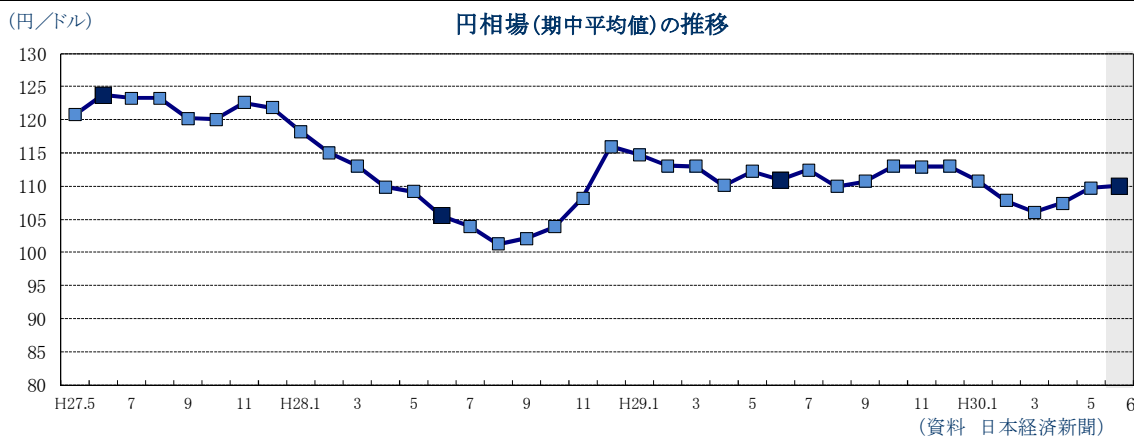
◆ 日経平均株価(6月)は22,562円88銭(期中平均値)、前月より27円17銭安となり、3か月振りに前月を下回った。



【日経平均株価】

日本経済新聞社が東京証券取引所第一部に上場している225銘柄(定期的に入れ替え)を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

◆ 円相場(6月)は110円03銭(期中平均値)、前月より34銭円安となっている。

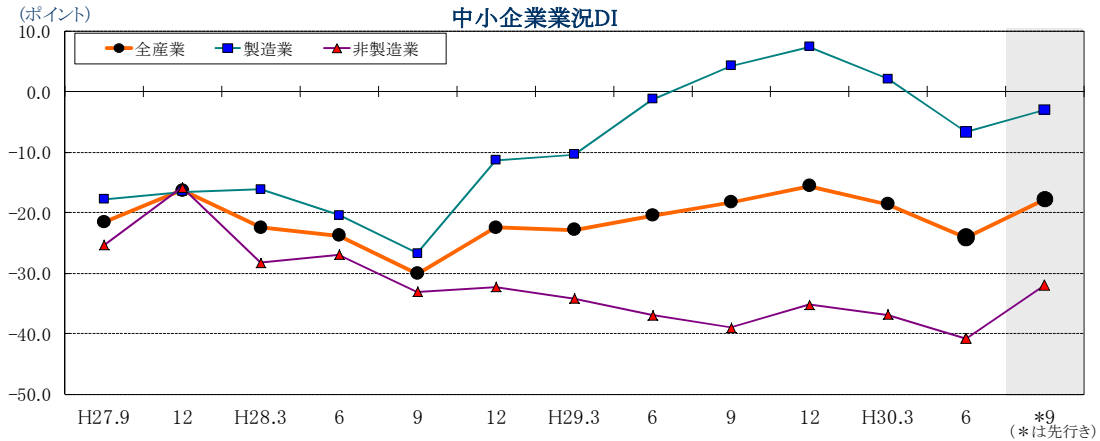


【円相場】

円とドルの交換比率(対ドルの為替レート)です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりしますし、減れば値下がります。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をしますし、「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となる。一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場は、日本経済全体に多大な影響を与えるため、政府・日銀が介入する場合があります。

(8) 中小企業の業況

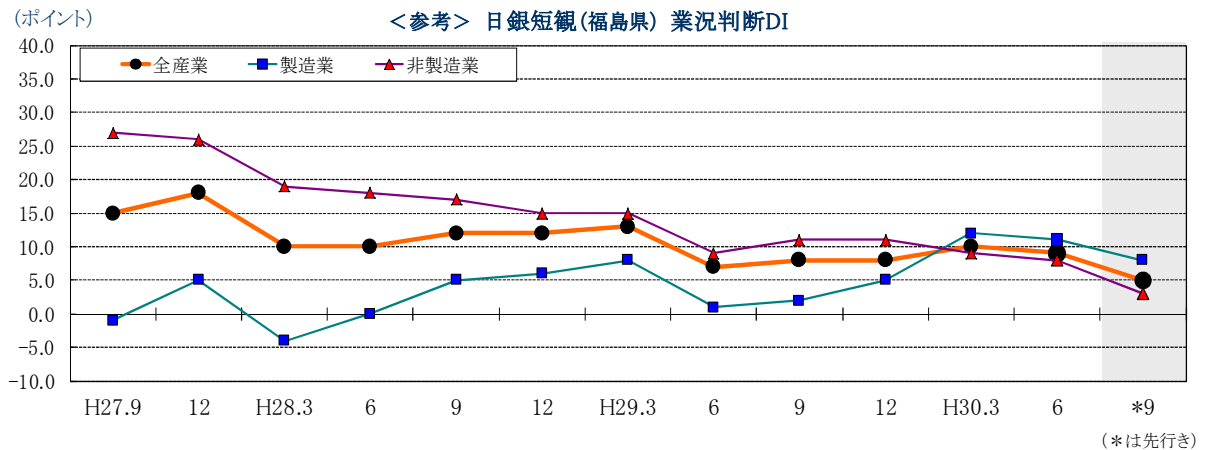
◆ 県内中小企業の業況感を表す業況DI(6月)はマイナス24.1ポイント、前回調査(3月)に比べると5.5ポイント悪化している。産業別にみると、製造業は前回に比べ8.8ポイント、非製造業は3.9ポイント悪化している。
3か月先の見通しは、マイナス17.8となり6.3ポイント改善すると予測している。



(資料 福島県産業振興センター)

【中小企業業況DI】

(公財)福島県産業振興センターが四半期ごとに実施しているビジネス・サーベイです。当該業界に対する企業家の景況判断を示したものです。DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、「良い」と回答した企業の割合から、「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値です。



(資料 日本銀行福島支店)

【参考:日銀短観】

業況等の現状・先行きに関する判断や、事業計画に関する実績・予測など、企業活動全般に関する調査項目について、日本銀行が四半期ごとに実施するビジネス・サーベイです。調査対象は資本金2千万円以上であるため、いわゆる零細企業は対象にならない点に留意する必要があります。また、各支店(例:日銀福島支店)が公表する「支店短観」は、各地域の産業構造を反映するため、全国分の短観が調査・集計対象としていない先(大手企業の出先事務所等)も一部調査・集計対象としています。業況判断DIは業況(「収益を中心とした、業況についての全般的な判断」)が「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値で、企業の収益性と相関があります。

3 主要経済指標

区分 年月	個人消費									
	1 百貨店・スーパー販売額				2 コンビニエンスストア販売額		3 家電量販店販売額		4 ドラッグストア販売額	
	福島県 全店舗 (百万円)	福島県 既存店 (百万円)	全国 全店舗 (億円)	全国 既存店 (億円)	福島県 (百万円)	全国 (億円)	福島県 (百万円)	全国 (億円)	福島県 (百万円)	全国 (億円)
平成27年	253,955	-	200,491	-	-	109,957	51,081	42,467	75,209	53,609
28年	252,711	-	195,979	-	209,793	114,456	49,960	41,830	78,886	57,258
29年	250,808	-	196,025	-	207,906	117,451	49,094	43,115	83,518	60,580
29年 I	61,389	-	47,545	-	48,963	27,400	13,089	10,698	19,769	14,159
II	61,094	-	47,156	-	51,747	29,209	10,779	9,809	20,762	15,161
III	61,693	-	47,802	-	54,929	31,057	12,759	11,320	22,072	15,530
IV	66,631	-	53,522	-	52,267	29,785	12,467	11,288	20,915	15,730
30年 I	61,577	-	47,743	-	48,575	27,968	12,658	10,926	20,915	15,203
29年 2月	18,921	-	14,493	-	15,344	8,542	3,490	2,960	6,509	4,555
3月	21,141	-	16,309	-	17,262	9,698	4,593	4,022	6,395	4,880
4月	20,188	-	15,581	-	16,860	9,514	3,664	3,316	6,672	4,953
5月	20,942	-	15,881	-	17,714	9,965	3,581	3,236	6,895	5,124
6月	19,964	-	15,694	-	17,173	9,731	3,534	3,257	7,195	5,084
7月	21,348	-	17,179	-	19,170	10,763	5,203	4,595	7,401	5,383
8月	21,433	-	15,655	-	18,527	10,513	4,012	3,567	7,582	5,199
9月	18,913	-	14,968	-	17,232	9,781	3,544	3,158	7,089	4,948
10月	20,426	-	15,888	-	17,526	9,982	3,558	3,105	6,815	5,047
11月	20,418	-	16,713	-	16,734	9,524	3,707	3,436	6,910	5,020
12月	25,787	-	20,921	-	18,007	10,279	5,202	4,748	7,190	5,663
30年 1月	21,328	-	16,826	-	16,190	9,323	4,886	3,821	7,363	5,053
2月	19,025	-	14,565	-	15,121	8,675	3,344	3,073	6,793	4,844
3月	21,224	-	16,351	-	17,264	9,969	4,428	4,032	6,759	5,307
4月	20,181	-	15,564	-	16,842	9,721	3,354	3,342	7,260	5,337
5月	20,637	-	15,664	-	17,382	9,979	3,274	3,249	7,073	5,326
6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分 年月	対前年同月(期)比(%)									
	福島県 全店舗	福島県 既存店	全国 全店舗	全国 既存店	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
平成27年	2.6	0.7	1.3	0.4	-	5.5	△	5.7	△	6.3
28年	0.9	0.6	△	0.4	△	4.1	△	2.2	△	1.5
29年	△	0.8	△	1.3	0.0	0.0	△	0.9	2.4	△
29年 I	△	1.8	△	1.8	△	1.5	△	1.5	△	0.4
II	△	1.0	△	1.0	0.1	0.2	△	0.5	3.2	△
III	△	0.0	△	0.5	0.7	0.7	△	1.0	2.4	△
IV	△	0.2	△	2.0	0.7	0.6	△	1.7	1.4	△
30年 I	△	0.3	△	1.9	0.4	0.4	△	0.8	2.1	△
29年 2月	△	3.4	△	3.4	△	2.6	△	2.7	△	1.8
3月	△	1.3	△	1.3	△	0.9	△	0.8	3.2	△
4月	△	0.7	△	0.7	0.8	1.0	△	0.0	3.3	△
5月	△	1.8	△	1.8	△	0.6	△	0.2	3.6	△
6月	△	0.5	△	0.5	0.1	0.2	△	1.2	2.9	△
7月	△	0.7	△	0.5	△	0.2	△	0.2	3.1	△
8月	△	0.2	△	0.3	0.7	0.6	△	2.4	1.9	△
9月	△	0.9	△	1.7	1.8	1.9	△	0.4	2.1	△
10月	△	1.5	△	2.6	△	0.5	△	0.7	0.6	△
11月	△	0.1	△	2.1	1.4	1.4	△	1.4	1.8	△
12月	△	0.7	△	1.4	1.2	1.1	△	1.2	1.8	△
30年 1月	△	0.0	△	2.1	0.5	0.4	△	1.0	1.8	△
2月	△	0.5	△	1.7	0.5	0.6	△	1.5	1.6	△
3月	△	0.4	△	1.8	0.3	0.1	△	0.0	2.8	△
4月	△	0.0	△	2.3	△	0.1	△	0.8	2.2	△
5月	△	1.5	△	3.7	△	1.4	△	2.0	0.1	△
6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	旧大型小売店販売額									
資料 出所	経済産業省「商業動態統計」									

※四半期値のⅠ期は1～3月期、Ⅱ期は4～6月期、Ⅲ期は7～9月期、Ⅳ期は10～12月期を表す。

区分	個人消費				建設需要					
	5 ホームセンター販売額		6 乗用車新規登録台数		7 新設住宅着工戸数		8 公共工事請負金額		9 業務用建築物着工工事費	
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(戸)	(百万円)	(億円)	(百万円)	(億円)
平成27年	68,665	33,012	70,106	4,209	15,568	909,299	796,151	139,678	162,163	84,800
28年	68,377	33,090	68,188	4,140	18,422	967,237	857,830	145,395	146,534	88,740
29年	68,906	32,942	71,117	4,381	14,710	964,641	620,302	139,081	156,191	96,873
29年 I	15,459	7,245	22,322	1,339	3,280	223,290	160,367	29,549	39,821	23,559
II	18,148	8,785	16,680	1,005	3,529	249,916	217,877	48,251	44,087	23,821
III	16,799	8,192	16,664	1,065	3,930	246,924	129,938	37,573	36,342	25,495
IV	18,500	8,720	15,451	972	3,971	244,511	125,702	28,319	35,941	23,998
30年 I	15,089	7,223	21,366	740	2,910	205,045	146,778	24,938	30,721	23,718
29年 2月	4,440	2,189	6,377	413	1,132	70,912	42,569	7,693	6,660	9,156
3月	5,313	2,623	10,390	583	1,173	75,887	60,325	14,859	13,808	6,106
4月	6,170	2,962	4,996	297	1,465	83,979	51,925	20,646	26,624	7,381
5月	6,430	3,125	5,097	312	1,068	78,481	70,878	12,421	8,482	7,547
6月	5,548	2,698	6,587	396	996	87,456	95,074	15,185	8,981	8,892
7月	5,967	2,910	5,517	357	1,234	83,234	48,833	12,888	9,336	7,026
8月	5,818	2,775	4,670	291	1,288	80,562	34,568	11,494	9,849	8,673
9月	5,014	2,507	6,477	417	1,408	83,128	46,537	13,191	17,158	9,796
10月	5,413	2,599	5,260	310	1,553	83,057	51,507	11,712	11,107	8,666
11月	5,852	2,750	5,353	332	1,164	84,703	33,898	8,633	13,934	8,794
12月	7,235	3,371	4,838	330	1,254	76,751	40,297	7,973	10,900	6,538
30年 1月	5,271	2,415	5,544	339	1,028	66,358	41,291	6,101	8,075	7,681
2月	4,365	2,175	6,067	401	1,072	69,071	37,561	6,139	9,178	8,465
3月	5,453	2,633	9,755	562	810	69,616	67,926	12,697	13,468	7,572
4月	6,215	2,976	4,912	305	1,174	84,226	50,166	21,777	17,526	8,084
5月	6,105	2,955	4,791	307	740	79,539	30,892	12,857	12,308	7,502
6月	-	-	5,922	375	-	-	53,788	14,339	-	-

区分	対前年同月(期)比(%)										対前年同月(期)比(%)	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
平成27年	△ 2.2	△ 1.3	△ 13.2	△ 10.3	△ 2.7	△ 1.9	△ 20.7	△ 3.8	△ 11.9	△ 6.5		
28年	△ 0.4	△ 0.2	△ 2.7	△ 1.6	△ 18.3	△ 6.4	△ 7.7	△ 4.1	△ 9.6	△ 4.6		
29年	△ 0.8	△ 0.4	△ 4.3	△ 5.8	△ 20.1	△ 0.3	△ 27.7	△ 4.3	△ 6.6	△ 9.2		
29年 I	△ 1.3	△ 0.7	△ 5.2	△ 7.8	△ 16.9	△ 3.2	△ 4.8	△ 9.9	△ 49.6	△ 11.9		
II	△ 0.6	△ 0.4	△ 10.6	△ 13.2	△ 28.6	△ 1.1	△ 14.2	△ 2.6	△ 7.1	△ 1.1		
III	△ 0.1	△ 0.1	△ 4.4	△ 4.1	△ 18.7	△ 2.4	△ 46.5	△ 7.9	△ 39.0	△ 7.0		
IV	△ 2.6	△ 0.8	△ 2.9	△ 1.5	△ 15.5	△ 2.5	△ 37.2	△ 1.1	△ 31.7	△ 5.9		
30年 I	△ 2.4	△ 0.3	△ 0.0	△ 2.7	△ 11.3	△ 8.2	△ 8.5	△ 15.6	△ 22.9	△ 1.2		
29年 2月	△ 2.5	△ 2.0	△ 0.8	△ 8.2	△ 15.5	△ 2.6	△ 78.0	△ 10.4	△ 39.3	△ 25.4		
3月	△ 3.2	△ 0.3	△ 11.6	△ 9.6	△ 19.4	△ 0.2	△ 26.2	△ 10.9	△ 210.6	△ 14.7		
4月	△ 3.2	△ 0.4	△ 5.6	△ 10.5	△ 21.4	△ 1.9	△ 25.1	△ 1.7	△ 107.6	△ 14.1		
5月	△ 0.4	△ 0.7	△ 10.1	△ 13.4	△ 33.5	△ 0.3	△ 22.0	△ 8.5	△ 56.7	△ 8.5		
6月	△ 4.8	△ 0.8	△ 15.0	△ 15.1	△ 32.4	△ 1.7	△ 1.3	△ 0.6	△ 2.5	△ 1.7		
7月	△ 1.0	△ 0.9	△ 3.2	△ 2.6	△ 26.4	△ 2.3	△ 7.2	△ 5.4	△ 20.9	△ 18.9		
8月	△ 0.9	△ 0.2	△ 6.6	△ 4.1	△ 24.7	△ 2.0	△ 67.9	△ 7.9	△ 34.5	△ 2.5		
9月	△ 0.4	△ 1.6	△ 3.9	△ 5.3	△ 2.7	△ 2.9	△ 43.8	△ 10.4	△ 54.5	△ 20.2		
10月	△ 3.0	△ 5.1	△ 0.5	△ 1.1	△ 10.7	△ 4.8	△ 25.2	△ 3.9	△ 68.0	△ 22.9		
11月	△ 0.4	△ 0.5	△ 4.4	△ 2.6	△ 16.8	△ 0.4	△ 27.7	△ 5.0	△ 65.5	△ 24.0		
12月	△ 9.2	△ 1.6	△ 3.9	△ 0.8	△ 19.8	△ 2.1	△ 52.3	△ 6.4	△ 15.3	△ 5.5		
30年 1月	△ 7.6	△ 0.7	△ 0.2	△ 1.1	△ 5.4	△ 13.2	△ 28.2	△ 12.8	△ 58.3	△ 7.4		
2月	△ 1.7	△ 0.7	△ 4.9	△ 2.8	△ 5.3	△ 2.6	△ 11.8	△ 20.2	△ 37.8	△ 7.5		
3月	△ 2.6	△ 0.4	△ 6.1	△ 3.6	△ 30.9	△ 8.3	△ 12.6	△ 14.5	△ 2.5	△ 24.0		
4月	△ 0.7	△ 0.5	△ 1.7	△ 2.6	△ 19.9	△ 0.3	△ 3.4	△ 5.5	△ 34.2	△ 9.5		
5月	△ 5.1	△ 5.4	△ 6.0	△ 1.5	△ 30.7	△ 1.3	△ 56.4	△ 3.5	△ 45.1	△ 0.6		
6月	-	-	△ 10.1	△ 5.3	-	-	△ 43.4	△ 5.6	-	-		
備考			乗用車、軽自動車の計		持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の計		年表示は、年度ベースの機関と地方の機関の計		全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの			
資料出所	経済産業省「商業動態統計」		東北運輸局 全国軽自動車販売連合会 資料		国土交通省「住宅着工統計」		東日本建設保証㈱「公共工事前払金保証統計」		国土交通省「建築着工統計」			

区分	生産活動											
	10 鉱工業生産指数				11 鉱工業出荷指数				12 鉱工業在庫指数			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
年月	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数
平成27年	-	-	88.1	97.8	-	-	84.3	96.9	-	-	99.5	113.0
28年	-	-	85.1	97.7	-	-	82.1	96.3	-	-	103.9	110.9
29年	-	-	85.2	102.0	-	-	82.9	100.1	-	-	95.4	109.0
29年 I	85.2	100.0	87.5	101.0	82.3	98.5	84.4	101.0	98.4	108.3	99.6	107.2
II	85.1	101.8	83.5	99.6	83.0	99.9	81.5	96.4	94.3	110.2	91.3	108.6
III	85.1	102.3	84.2	102.1	82.3	100.5	81.6	100.2	94.5	107.7	95.2	109.5
IV	85.3	103.9	85.8	105.1	83.7	101.3	84.2	102.6	94.3	110.0	95.4	110.9
30年 I	82.5	102.5	84.0	103.4	80.5	100.2	81.9	102.5	97.4	110.9	98.5	109.7
29年 2月	85.3	100.5	85.9	98.6	82.6	98.9	82.9	97.4	98.6	108.2	100.5	109.3
3月	87.6	100.0	98.6	111.8	83.8	98.6	95.4	113.9	96.7	109.2	96.2	101.9
4月	86.7	102.9	82.9	98.2	84.2	100.4	81.6	94.5	95.1	110.9	91.7	105.7
5月	85.7	100.7	80.5	94.8	83.1	98.9	77.8	91.3	94.3	110.7	91.7	110.5
6月	83.0	101.9	87.1	105.8	81.8	100.5	85.2	103.5	93.5	108.9	90.4	109.5
7月	84.4	101.6	85.8	103.1	82.0	100.1	83.3	100.4	94.5	108.2	93.3	110.4
8月	85.1	102.9	79.4	97.1	82.7	101.6	77.2	94.9	94.4	107.6	96.1	111.1
9月	85.7	102.3	87.3	106.1	82.2	99.8	84.2	105.2	94.5	107.4	96.3	107.0
10月	84.1	102.8	84.7	104.5	83.0	99.4	84.0	99.8	94.3	110.5	95.5	112.1
11月	85.0	103.5	85.7	105.4	83.9	101.3	83.6	103.1	94.6	109.8	94.6	112.2
12月	86.7	105.4	87.0	105.3	84.2	103.3	85.0	104.9	94.0	109.8	96.2	108.4
30年 1月	80.1	100.7	77.0	95.4	79.2	98.7	75.2	93.8	96.7	109.3	98.8	112.0
2月	81.5	102.7	80.6	100.2	80.4	100.3	79.1	98.1	97.0	109.9	98.9	111.1
3月	86.0	104.1	94.5	114.5	82.0	101.5	91.4	115.5	98.5	113.5	97.8	105.9
4月	83.9	104.6	80.2	100.8	80.9	103.1	78.2	97.9	100.0	112.8	96.4	107.5
5月	87.4	104.4	83.6	98.8	83.9	101.5	80.1	94.3	100.0	113.5	97.2	113.3
6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)	
平成27年	-	-	△ 5.0	△ 1.2	-	-	△ 8.2	△ 1.3	-	-	△ 2.8	3.2
28年	-	-	△ 3.4	△ 0.1	-	-	△ 2.6	△ 0.6	-	-	△ 4.4	△ 1.9
29年	-	-	0.1	4.4	-	-	1.0	3.9	-	-	△ 8.2	△ 1.7
29年 I	1.3	0.2	△ 1.9	3.5	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.8	3.6	△ 2.5	0.7	△ 6.3	△ 4.3
II	△ 0.1	1.8	0.5	5.6	0.9	1.4	1.7	5.2	△ 4.2	1.8	△ 11.7	△ 1.7
III	0.0	0.5	1.1	4.0	△ 0.8	0.6	0.9	3.8	0.2	2.3	△ 9.0	△ 2.6
IV	0.2	1.6	1.1	4.6	1.7	0.8	2.3	3.1	△ 0.2	2.1	△ 5.8	2.2
30年 I	△ 3.3	△ 1.3	△ 4.0	2.4	△ 3.8	△ 1.1	△ 3.0	1.5	3.3	0.8	△ 1.1	2.3
29年 2月	3.1	1.0	△ 3.0	4.3	2.7	0.9	△ 1.5	3.6	△ 1.3	0.6	△ 6.0	△ 3.9
3月	2.7	△ 0.5	2.6	3.3	1.5	△ 0.3	3.1	3.5	△ 1.9	0.9	△ 9.2	△ 4.0
4月	△ 1.0	2.9	0.9	5.7	0.5	1.8	2.0	5.0	△ 1.7	1.6	△ 11.7	△ 1.1
5月	△ 1.2	△ 2.1	3.1	6.2	△ 1.3	△ 1.5	3.9	5.4	△ 0.8	△ 0.2	△ 12.2	△ 1.3
6月	△ 3.2	1.2	△ 2.2	5.2	△ 1.6	1.6	△ 0.4	5.3	△ 0.8	△ 1.6	△ 11.3	△ 2.8
7月	1.7	△ 0.3	0.7	4.5	0.2	△ 0.4	1.3	4.1	1.1	△ 0.6	△ 9.2	△ 2.3
8月	0.8	1.3	0.6	5.0	0.9	1.5	0.3	5.8	△ 0.1	△ 0.6	△ 9.1	△ 2.9
9月	0.7	△ 0.6	1.9	2.5	△ 0.6	△ 1.8	0.8	1.6	0.1	△ 0.2	△ 8.5	△ 2.5
10月	△ 1.9	0.5	1.2	5.7	1.0	△ 0.4	4.1	2.8	△ 0.2	2.9	△ 7.3	1.9
11月	1.1	0.7	△ 1.2	3.6	1.1	1.9	0.1	2.4	0.3	△ 0.6	△ 4.8	2.8
12月	2.0	1.8	3.3	4.5	0.4	2.0	2.8	4.3	△ 0.6	0.0	△ 5.1	1.9
30年 1月	△ 7.6	△ 4.5	△ 1.3	2.9	△ 5.9	△ 4.5	0.3	2.2	2.9	△ 0.5	△ 3.1	1.5
2月	1.7	2.0	△ 6.2	1.6	1.5	1.6	△ 4.6	0.7	0.3	0.5	△ 1.6	1.6
3月	5.5	1.4	△ 4.2	2.4	2.0	1.2	△ 4.2	1.4	1.5	3.3	1.7	3.9
4月	△ 2.4	0.5	△ 3.3	2.6	△ 1.3	1.6	△ 4.2	3.6	1.5	△ 0.6	5.1	1.7
5月	4.2	△ 0.2	3.9	4.2	3.7	△ 1.6	3.0	3.3	0.0	0.6	6.0	2.5
6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	福島県:平成22年=100 全国:平成22年=100				福島県:平成22年=100 全国:平成22年=100				福島県:平成22年=100 全国:平成22年=100			
資料 出所	福島県統計調査課「福島県鉱工業指数月報」 経済産業省「鉱工業指数」											

区分	雇用・労働									
	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率		15 有効求人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者実人員	
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)
平成27年	1.96	1.80	1.46	1.20	43,059	2,374	29,569	1,979	6,282	442
28年	1.91	2.04	1.42	1.36	41,784	2,530	29,417	1,866	6,155	409
29年	1.98	2.24	1.45	1.50	42,803	2,696	29,454	1,793	6,316	383
29年 I	1.96	2.14	1.44	1.44	43,883	2,708	29,123	1,792	5,780	364
II	1.97	2.23	1.45	1.49	42,061	2,641	31,721	1,910	6,459	376
III	1.95	2.25	1.45	1.52	41,785	2,666	29,413	1,773	6,894	411
IV	2.09	2.36	1.48	1.57	43,482	2,771	27,560	1,696	6,129	382
30年 I	2.03	2.35	1.50	1.59	43,507	2,827	27,721	1,704	5,553	344
29年 2月	2.05	2.13	1.44	1.44	44,065	2,725	28,765	1,780	5,722	359
3月	1.88	2.14	1.45	1.45	45,946	2,807	31,367	1,880	5,883	360
4月	1.92	2.17	1.45	1.47	42,844	2,677	32,095	1,940	5,540	338
5月	2.06	2.28	1.45	1.49	41,367	2,615	31,954	1,921	6,895	392
6月	1.92	2.24	1.44	1.50	41,973	2,632	31,114	1,869	6,942	399
7月	1.90	2.26	1.44	1.51	41,043	2,617	29,672	1,785	6,868	400
8月	1.97	2.22	1.45	1.52	41,723	2,661	29,314	1,767	7,225	430
9月	1.99	2.27	1.46	1.53	42,589	2,720	29,253	1,766	6,590	403
10月	2.03	2.35	1.47	1.55	44,232	2,800	28,957	1,769	6,477	401
11月	2.07	2.34	1.48	1.56	43,797	2,787	27,678	1,707	6,159	384
12月	2.17	2.38	1.50	1.59	42,417	2,725	26,045	1,611	5,752	360
30年 1月	2.04	2.34	1.51	1.59	42,190	2,750	26,252	1,641	5,743	356
2月	2.00	2.30	1.49	1.58	43,767	2,839	27,298	1,690	5,421	340
3月	2.06	2.41	1.51	1.59	44,563	2,893	29,614	1,781	5,495	337
4月	2.05	2.37	1.53	1.59	42,785	2,786	30,477	1,867	5,448	326
5月	2.05	2.34	1.51	1.60	42,045	2,753	30,802	1,871	6,647	389
6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前月(期) (ポイント)				対前年同月(期)比(%)				対前年同月(期)比(%)			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
平成27年	0.04	0.14	0.05	0.11	0.1	4.3	2.9	5.4	6.7	7.1		
28年	△ 0.05	0.24	△ 0.04	0.16	△ 3.0	6.6	△ 0.5	5.8	△ 2.0	7.3		
29年	0.07	0.20	0.03	0.14	2.4	6.6	0.1	3.9	2.6	6.4		
29年 I	△ 0.01	0.01	0.00	0.03	1.9	6.2	△ 0.7	4.4	△ 1.7	8.5		
II	0.01	0.09	0.01	0.05	2.4	6.4	1.7	4.1	3.9	6.6		
III	△ 0.02	0.02	0.00	0.03	3.0	6.3	△ 0.0	3.8	3.6	6.8		
IV	0.14	0.11	0.03	0.05	2.4	7.4	△ 0.6	3.2	4.4	3.5		
30年 I	△ 0.06	△ 0.01	0.02	0.02	△ 0.9	4.4	△ 4.8	4.9	△ 3.9	5.3		
29年 2月	0.09	△ 0.01	0.00	0.01	1.6	5.9	△ 1.6	4.9	△ 3.2	9.3		
3月	△ 0.17	0.01	0.01	0.01	4.2	6.1	△ 0.7	4.3	△ 1.4	7.7		
4月	0.04	0.03	0.00	0.02	2.3	6.0	0.6	4.6	△ 2.8	8.4		
5月	0.14	0.11	0.00	0.02	3.3	6.7	2.7	3.7	9.2	3.7		
6月	△ 0.14	△ 0.04	△ 0.01	0.01	1.7	6.5	1.8	4.0	4.7	7.9		
7月	△ 0.02	0.02	0.00	0.01	1.8	6.3	0.6	4.2	5.0	6.5		
8月	0.07	△ 0.04	0.01	0.01	4.1	6.4	0.3	3.7	4.5	6.9		
9月	0.02	0.05	0.01	0.01	3.0	6.1	△ 1.0	3.5	1.4	6.9		
10月	0.04	0.08	0.01	0.02	3.4	7.2	0.0	3.0	5.3	2.7		
11月	0.04	△ 0.01	0.01	0.01	1.0	6.8	△ 0.7	3.4	5.5	3.3		
12月	0.10	0.04	0.02	0.03	3.0	8.1	△ 1.1	3.2	2.3	4.5		
30年 1月	△ 0.13	△ 0.04	0.01	0.00	1.3	6.1	△ 3.6	4.4	0.1	4.3		
2月	△ 0.04	△ 0.04	△ 0.02	△ 0.01	△ 0.7	4.2	△ 5.1	5.1	△ 5.3	5.3		
3月	0.06	0.11	0.02	0.01	3.0	3.1	△ 5.6	5.2	△ 6.6	6.4		
4月	△ 0.01	△ 0.04	0.02	0.00	△ 0.1	4.1	△ 5.0	3.7	△ 1.7	3.6		
5月	0.00	△ 0.03	△ 0.02	0.01	1.6	5.3	△ 3.6	2.6	△ 3.6	0.8		
6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
備考	学卒を除きパートを含む。 新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値 四半期値は各期ごとの平均									四半期値は各期ごとの平均		
資料出所	福島労働局職業安定部「最近の雇用失業情勢について」、「雇用失業情勢」											

区分	雇用・労働								物価
	18 現金給与総額 指数(名目)		19 所定外労働 時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム 労働者比率		22 国内企 業物価指数
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国
							(%)	(%)	
平成27年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	23.4	30.5	100.0
28年	99.8	100.6	91.8	98.5	100.1	102.1	23.1	30.7	96.5
29年	99.3	101.0	89.0	99.5	101.3	104.7	22.6	30.8	98.7
29年 I	86.0	86.3	89.5	99.7	100.6	102.9	22.4	30.8	97.9
II	101.6	104.0	88.5	99.1	101.2	104.7	22.3	30.5	98.4
III	95.3	97.0	85.4	97.0	101.9	105.4	22.5	30.7	98.8
IV	114.2	116.7	92.8	102.4	101.5	105.9	23.3	31.1	99.7
30年 I	83.3	87.5	91.5	98.5	100.9	105.0	24.3	30.9	100.3
29年 2月	85.0	83.9	89.2	99.1	101.0	103.0	23.0	30.9	97.9
3月	87.3	88.9	93.1	103.6	100.3	102.6	22.0	30.7	98.2
4月	84.8	87.8	88.5	103.6	100.8	104.2	22.0	30.3	98.4
5月	86.2	86.1	86.9	96.4	101.4	104.7	22.5	30.5	98.4
6月	133.9	138.2	90.0	97.3	101.4	105.1	22.3	30.7	98.5
7月	113.7	118.3	84.6	98.2	102.0	105.4	22.3	30.7	98.7
8月	89.1	87.4	83.1	93.6	102.0	105.3	22.2	30.7	98.8
9月	83.1	85.3	88.5	99.1	101.7	105.5	23.1	30.8	99.0
10月	84.4	85.3	91.5	100.9	101.7	105.7	23.1	30.9	99.4
11月	86.9	88.7	93.8	102.7	101.3	106.0	23.1	31.0	99.8
12月	171.4	176.1	93.1	103.6	101.4	106.1	23.7	31.2	100.0
30年 1月	83.5	87.1	86.9	94.5	101.1	105.2	24.3	30.9	100.3
2月	81.8	84.7	91.5	98.2	101.2	105.2	24.1	31.0	100.4
3月	84.7	90.7	96.2	102.7	100.5	104.6	24.4	30.8	100.3
4月	83.8	88.3	97.7	103.6	102.2	106.0	23.8	30.4	100.5
5月	82.3	87.9	88.5	96.4	102.0	106.4	24.0	30.2	101.1
6月	-	-	-	-	-	-	-	-	101.3

	対前月(期) (ポイント)								対前年同月(期) (%)	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
平成27年	△ 0.6	0.1	△ 2.5	△ 1.0	2.2	2.1	0.1	0.7	△ 2.3	
28年	△ 0.2	0.5	△ 8.2	△ 1.5	0.1	2.1	△ 0.3	0.2	△ 3.5	
29年	△ 0.5	0.4	△ 3.1	1.0	1.2	2.5	△ 0.5	0.1	2.3	
29年 I	1.3	0.2	△ 0.6	1.3	1.2	2.4	△ 0.5	△ 0.2	0.9	
II	0.8	0.5	△ 0.9	1.0	1.0	2.6	△ 0.1	△ 0.3	2.1	
III	△ 1.3	0.2	△ 4.0	0.9	1.7	2.7	0.2	0.2	2.8	
IV	△ 2.4	0.7	△ 6.3	1.2	0.8	2.7	0.8	0.4	3.3	
30年 I	△ 3.1	1.4	2.3	△ 1.2	0.3	2.0	1.0	△ 0.2	2.5	
29年 2月	2.5	0.4	△ 0.1	1.5	0.9	2.4	0.7	0.1	1.0	
3月	0.0	0.0	0.1	1.5	2.5	2.4	△ 1.0	△ 0.2	1.4	
4月	△ 0.2	0.5	△ 6.4	0.6	0.7	2.6	0.0	△ 0.4	2.1	
5月	0.8	0.6	△ 1.8	1.6	1.2	2.7	0.5	0.1	2.1	
6月	1.4	0.4	2.6	0.7	1.4	2.6	△ 0.2	0.2	2.2	
7月	0.9	△ 0.6	△ 0.9	0.6	1.8	2.7	0.0	0.0	2.5	
8月	△ 3.4	0.7	△ 6.0	0.6	1.7	2.5	△ 0.1	0.0	2.9	
9月	△ 2.1	0.9	△ 4.8	1.5	1.6	2.7	0.9	0.1	3.0	
10月	△ 2.8	0.2	△ 8.5	0.7	1.2	2.7	0.0	0.1	3.5	
11月	△ 2.8	0.9	△ 4.0	1.5	0.7	2.7	0.0	0.1	3.5	
12月	△ 2.0	0.9	△ 6.2	1.5	0.6	2.6	0.6	0.2	3.0	
30年 1月	△ 2.5	1.2	0.8	△ 2.0	0.5	1.8	0.6	△ 0.3	2.7	
2月	△ 3.8	1.0	2.6	△ 0.9	0.2	2.0	△ 0.2	0.1	2.6	
3月	△ 3.0	2.0	3.3	△ 0.9	0.2	1.9	0.3	△ 0.2	2.1	
4月	△ 1.2	0.6	10.4	0.0	1.4	1.6	△ 0.6	△ 0.4	2.1	
5月	△ 4.5	2.1	1.8	0.0	0.6	1.6	0.2	△ 0.2	2.7	
6月	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	
備考	全産業5人以上 平成27年=100								平成27年=100 総平均	
資料 出所	福島県統計調査課「福島県の賃金、労働時間及び雇用の動き」 厚生労働省「毎月勤労統計」								日本銀行「企業 物価指数」	

区分	物価				企業・金融							
	23 消費者物価指数				24 企業倒産				25 金融機関預貸残高			
	福島市		全国		福島県		全国		福島県		全国	
年月	総合	生鮮食品を除く総合	総合	生鮮食品を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	預金残高	貸出残高	預金残高	貸出残高
					(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)
平成27年	100.0	100.0	100.0	100.0	34	7,824	8,812	21,124	97,836	42,173	67,911	47,594
28年	99.9	99.7	99.9	99.7	50	19,567	8,446	20,063	100,148	44,039	73,434	49,157
29年	100.3	100.1	100.4	100.2	56	20,026	8,405	31,676	99,740	45,175	76,324	50,524
29年 I	99.8	99.5	99.9	99.7	10	2,046	2,079	4,111	100,106	44,864	74,850	49,637
II	100.4	100.1	100.3	100.2	17	3,408	2,188	17,993	99,829	44,581	75,091	49,574
III	100.2	100.1	100.3	100.2	11	1,286	2,032	3,181	99,326	44,862	75,516	50,042
IV	100.8	100.5	100.9	100.7	18	13,286	2,106	6,391	99,740	45,175	76,324	50,524
30年 I	101.1	100.3	101.2	100.5	11	5,242	2,041	3,272	100,325	45,904	77,834	50,916
29年 2月	99.8	99.4	99.8	99.6	2	200	688	1,158	99,162	43,990	73,539	49,087
3月	99.8	99.6	99.9	99.8	5	1,314	786	1,668	100,106	44,864	74,850	49,637
4月	100.3	100.1	100.3	100.1	3	570	680	1,041	100,814	44,580	75,314	49,384
5月	100.4	100.2	100.4	100.3	6	1,052	802	1,069	99,802	44,543	75,316	49,399
6月	100.4	100.1	100.2	100.2	8	1,786	706	15,883	99,829	44,581	75,091	49,574
7月	100.1	100.0	100.1	100.1	6	610	714	1,099	99,031	44,819	75,384	49,616
8月	100.0	99.9	100.3	100.3	2	90	639	924	99,117	44,867	75,456	49,598
9月	100.6	100.3	100.5	100.3	3	586	679	1,158	99,326	44,862	75,516	50,042
10月	100.6	100.6	100.6	100.6	2	420	733	959	99,549	44,736	76,043	49,834
11月	100.7	100.5	100.9	100.7	5	1,072	677	1,457	99,502	44,760	76,459	49,983
12月	101.0	100.4	101.2	100.7	11	11,794	696	3,976	99,740	45,175	76,324	50,524
30年 1月	101.4	100.2	101.3	100.4	4	3,898	635	1,046	98,541	45,056	76,350	50,422
2月	101.0	100.2	101.3	100.6	5	1,064	617	900	98,156	45,153	76,519	50,384
3月	100.9	100.5	101.0	100.6	2	280	789	1,327	100,325	45,904	77,834	50,916
4月	100.8	100.6	100.9	100.9	7	1,026	650	955	99,147	45,422	78,553	50,829
5月	101.1	100.9	101.0	101.0	7	343	767	1,044	99,191	45,404	78,396	50,661
6月	-	-	-	-	9	397	690	2,195	-	-	-	-

区分	対前年同月(期)比(%)											
	総合	生鮮食品を除く総合	総合	生鮮食品を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	預金残高	貸出残高	預金残高	貸出残高
平成27年	0.8	0.5	0.8	0.5	9.7	6.7	△ 9.4	12.7	6.4	2.9	2.8	3.2
28年	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.3	47.1	150.1	△ 4.2	△ 5.0	2.4	4.4	8.1	3.3
29年	0.4	0.4	0.5	0.5	12.0	2.3	△ 0.5	57.9	△ 0.4	2.6	3.9	2.8
29年 I	0.5	0.2	0.3	0.2	11.1	△ 34.2	△ 3.0	△ 11.8	1.4	4.1	6.2	3.4
II	0.2	0.1	0.4	0.4	△ 15.0	△ 38.0	2.8	449.5	△ 0.2	4.5	5.0	3.7
III	0.5	0.4	0.6	0.6	△ 8.3	△ 87.3	△ 2.6	△ 5.1	0.7	3.6	5.2	3.5
IV	0.5	0.8	0.6	0.9	100.0	1,464.9	1.0	△ 27.2	△ 0.4	2.6	3.9	2.8
30年 I	1.3	0.8	1.3	0.9	10.0	156.2	△ 1.8	△ 20.4	0.2	2.3	4.0	2.6
29年 2月	0.5	0.3	0.3	0.2	0.0	△ 66.7	△ 4.8	△ 29.2	3.7	4.1	7.0	3.7
3月	0.2	0.1	0.2	0.2	0.0	55.7	5.4	△ 5.2	1.4	4.1	6.2	3.4
4月	0.1	0.2	0.4	0.3	50.0	23.9	△ 2.2	0.7	1.0	4.6	5.6	3.9
5月	0.1	0.0	0.4	0.4	△ 40.0	△ 74.9	19.5	△ 7.7	1.7	4.4	5.3	3.8
6月	0.3	0.1	0.4	0.4	0.0	111.6	△ 7.5	1,367.6	△ 0.2	4.5	5.0	3.7
7月	0.4	0.3	0.4	0.5	20.0	△ 51.2	0.3	△ 11.4	0.0	4.3	5.9	3.7
8月	0.2	0.2	0.7	0.7	△ 60.0	△ 99.0	△ 12.0	△ 26.7	1.0	4.3	5.8	3.6
9月	1.0	0.8	0.7	0.7	50.0	463.5	4.6	36.1	0.7	3.6	5.2	3.5
10月	0.4	0.9	0.2	0.8	△ 60.0	62.8	7.3	△ 13.8	1.4	3.1	5.6	3.3
11月	0.4	0.8	0.6	0.9	66.7	119.2	△ 2.3	△ 75.5	△ 1.1	3.0	4.9	2.9
12月	0.7	0.6	1.0	0.9	1,000.0	11,462.7	△ 2.0	131.6	△ 0.4	2.6	3.9	2.8
30年 1月	1.5	0.8	1.4	0.9	33.3	632.7	5.0	△ 18.6	△ 0.9	2.4	4.0	2.8
2月	1.3	0.8	1.5	1.0	150.0	432.0	△ 10.3	△ 22.3	△ 1.0	2.6	4.1	2.6
3月	1.1	0.9	1.1	0.9	△ 60.0	△ 78.7	0.4	△ 20.5	0.2	2.3	4.0	2.6
4月	0.5	0.5	0.6	0.7	133.3	80.0	△ 4.4	△ 8.3	△ 1.7	1.9	4.3	2.9
5月	0.6	0.7	0.7	0.7	16.7	△ 67.4	△ 4.4	△ 2.4	△ 0.6	1.9	4.1	2.6
6月	-	-	-	-	12.5	△ 77.8	△ 2.3	△ 86.2	-	-	-	-
備考	平成27年=100 対前年同月(期)比は旧基準による公表値				負債総額1,000万円以上				年・期・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫・信用組合の計(13銀行、8信金、6信組ベース(県内店舗分))			
資料出所	総務省統計局「消費者物価指数」				㈱東京商工リサーチ福島支店・郡山支店「福島県企業倒産状況」、㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」				預金残高は実質預金(総預金から切手手形を控除したもの) 日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」、日本銀行「金融経済統計月報」			

区分 年月	企業・金融		中小企業の業況							市場	
	26 貸出約定平均金利		27 中小企業業況DI							28 株式	29 円相場
	福島県 地元地銀・ 第二地銀	全国 国内銀行	福島県							株価 東証株式 (第1部)	東京市場 米ドルスポット
	(%)	(%)	全産業	製造業	非製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	(円)	(円/米ドル)
平成27年	1.072	1.110	-	-	-	-	-	-	-	19,203.77	121.09
28年	0.911	0.998	-	-	-	-	-	-	-	16,920.48	108.77
29年	0.914	0.946	-	-	-	-	-	-	-	20,209.03	112.13
29年 I	0.904	0.982	-	-	-	-	-	-	-	19,245.01	113.56
II	0.898	0.969	-	-	-	-	-	-	-	19,520.43	111.06
III	0.893	0.955	-	-	-	-	-	-	-	19,873.05	110.97
IV	0.914	0.946	-	-	-	-	-	-	-	22,182.06	112.95
30年 I	0.881	0.932	-	-	-	-	-	-	-	22,333.55	108.12
29年 2月	0.910	0.992	-	-	-	-	-	-	-	19,188.73	113.06
3月	0.904	0.982	△ 22.9	△ 10.4	△ 34.2	△ 26.0	△ 46.2	△ 33.0	△ 29.7	19,340.18	113.01
4月	0.915	0.982	-	-	-	-	-	-	-	18,736.39	110.06
5月	0.899	0.976	-	-	-	-	-	-	-	19,726.76	112.21
6月	0.898	0.969	△ 20.5	△ 1.3	△ 37.0	△ 35.5	△ 37.7	△ 41.1	△ 31.1	20,045.63	110.91
7月	0.894	0.965	-	-	-	-	-	-	-	20,044.86	112.44
8月	0.892	0.962	-	-	-	-	-	-	-	19,670.17	109.91
9月	0.893	0.955	△ 18.3	4.2	△ 39.0	△ 31.3	△ 42.4	△ 41.2	△ 38.7	19,924.40	110.68
10月	0.906	0.955	-	-	-	-	-	-	-	21,267.49	112.96
11月	0.917	0.954	-	-	-	-	-	-	-	22,525.15	112.92
12月	0.914	0.946	△ 15.6	7.4	△ 35.2	△ 32.6	△ 37.7	△ 39.8	△ 28.8	22,769.89	112.97
30年 1月	0.910	0.943	-	-	-	-	-	-	-	23,712.21	110.77
2月	0.904	0.940	-	-	-	-	-	-	-	21,991.68	107.82
3月	0.881	0.932	△ 18.6	2.1	△ 36.9	△ 41.8	△ 33.4	△ 34.9	△ 40.3	21,395.51	106.00
4月	0.876	0.929	-	-	-	-	-	-	-	21,868.79	107.43
5月	0.870	0.927	-	-	-	-	-	-	-	22,590.05	109.69
6月	-	-	△ 24.1	△ 6.7	△ 40.8	△ 47.8	△ 41.4	△ 43.3	△ 31.7	22,562.88	110.03

区分 年月	対前月(期)										
	△	△									
平成27年	△ 0.110	△ 0.070	-	-	-	-	-	-	-	3,743.34	15.30
28年	△ 0.161	△ 0.112	-	-	-	-	-	-	-	△ 2,283.29	△ 12.32
29年	0.003	△ 0.052	-	-	-	-	-	-	-	3,288.55	3.36
29年 I	△ 0.007	△ 0.016	-	-	-	-	-	-	-	1,293.08	4.14
II	△ 0.006	△ 0.013	-	-	-	-	-	-	-	275.42	△ 2.51
III	△ 0.005	△ 0.014	-	-	-	-	-	-	-	352.61	△ 0.08
IV	0.021	△ 0.009	-	-	-	-	-	-	-	2,309.02	1.98
30年 I	△ 0.033	△ 0.014	-	-	-	-	-	-	-	151.49	△ 4.83
29年 2月	△ 0.002	△ 0.004	-	-	-	-	-	-	-	△ 5.33	△ 1.67
3月	△ 0.006	△ 0.010	△ 0.4	1.0	△ 1.9	△ 11.4	△ 14.7	4.8	10.3	151.45	△ 0.05
4月	0.011	0.000	-	-	-	-	-	-	-	△ 603.79	△ 2.95
5月	△ 0.016	△ 0.006	-	-	-	-	-	-	-	990.37	2.15
6月	△ 0.001	△ 0.007	2.4	9.1	△ 2.8	△ 9.5	8.5	△ 8.1	△ 1.4	318.87	△ 1.30
7月	△ 0.004	△ 0.004	-	-	-	-	-	-	-	△ 0.77	1.53
8月	△ 0.002	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	△ 374.69	△ 2.53
9月	0.001	△ 0.007	2.2	5.5	△ 2.0	4.2	△ 4.7	△ 0.1	△ 7.6	254.23	0.77
10月	0.013	0.000	-	-	-	-	-	-	-	1,343.09	2.28
11月	0.011	△ 0.001	-	-	-	-	-	-	-	1,257.66	△ 0.04
12月	△ 0.003	△ 0.008	2.7	3.2	3.8	△ 1.3	4.7	1.4	9.9	244.74	0.05
30年 1月	△ 0.004	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	942.32	△ 2.20
2月	△ 0.006	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,720.53	△ 2.95
3月	△ 0.023	△ 0.008	△ 3.0	△ 5.3	△ 1.7	△ 9.2	4.3	4.9	△ 11.5	△ 596.17	△ 1.82
4月	△ 0.005	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	473.28	1.43
5月	△ 0.006	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	721.26	2.26
6月	-	-	△ 5.5	△ 8.8	△ 3.9	△ 6.0	△ 8.0	△ 8.4	8.6	△ 27.17	0.34
備考	(総合) 年・月末残ベース		前年同期と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値 (四半期末時点)							日経平均(25種) (期中平均値)	(期中平均値)
資料 出所	日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」 日本銀行「金融経済統計月報」		(公財)福島県産業振興センター「中小企業景気動向調査」							日本経済新聞社	日本経済新聞社

4 参考

1 中小企業景況景気動向（（公財）福島県産業振興センター）

概況：業況はわずかに悪化。

先行きは製造業で横ばい、非製造業はわずかに改善の見通し。

調査時点 平成30年7月調査（30年6月末時点）

対象企業 800社 回答企業490社（回答率：61.3%）

（製造業240社、建設業46社、卸売業70社、小売業74社、サービス業60社）

調査時期 四半期毎<3, 6, 9, 12月末時点>

DI (Diffusion Index) 値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

全産業

全産業の業況DI（▲24.1）は、前回（▲18.6）に比べ5.5ポイントの悪化を示した。

業種別では製造業の業況DI（▲6.7）は、前回（2.1）に比べ8.8ポイントの悪化を示した。

建設業の業況DI（▲47.8）は、前回（▲41.8）に比べ6.0ポイントの悪化を示した。

卸売業の業況DI（▲41.4）は前回（▲33.4）に比べ8.0ポイントの悪化を示した。

小売業の業況DI（▲43.3）は前回（▲34.9）に比べ8.4ポイントの悪化を示した。

サービス業の業況DI（▲31.7）は前回（▲40.3）に比べ8.6ポイントの改善を示した。

【3ヵ月先見通し】

〈業況〉今回＝平成30年6月末

全産業では今回（▲24.1）から3ヵ月先（▲17.8）と6.3ポイントの改善を見通している。

製造業では今回（▲6.7）から3ヵ月先（▲3.0）と3.7ポイントの改善を見通している。

建設業では今回（▲47.8）から3ヵ月先（▲45.6）と2.2ポイントの改善を見通している。

卸売業では今回（▲41.4）から3ヵ月先（▲35.7）と5.7ポイントの改善を見通している。

小売業では今回（▲43.3）から3ヵ月先（▲24.3）と19.0ポイントの改善を見通している。

サービス業では今回（▲31.7）から3ヵ月先（▲26.7）と5.0ポイントの改善を見通している。

製造業

資金繰りで横ばい、業況・売上・採算でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・わずかに改善・・・「縫製」、「窯業・土石」
- ・横ばい・・・「食料品」、「印刷」、「鉄鋼・非鉄」、「精密機器」
- ・わずかに悪化・・・「酒造」、「木材・木製品」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」
- ・悪化・・・「織物」、「ニット」、「輸送用機器」、「プラスチック」

〈採算〉

- ・わずかに改善・・・「食料品」
- ・横ばい・・・「印刷」、「鉄鋼・非鉄」、「一般機械」、「電気機器」、「精密機器」
- ・わずかに悪化・・・「織物」、「縫製」、「木材・木製品」、「窯業・土石」
- ・悪化・・・「酒造」、「ニット」、「金属」、「輸送用機器」、「プラスチック」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・「織物」
- ・わずかに改善・・・「窯業・土石」、「一般機械」、「精密機器」
- ・横ばい・・・「食料品」、「金属」、「電気機器」、「輸送用機器」
- ・わずかに悪化・・・「酒造」、「縫製」、「印刷」、「鉄鋼・非鉄」、「プラスチック」
- ・悪化・・・「ニット」、「木材・木製品」

【3ヵ月先見通し】

採算でわずかに改善、業況・売上・資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「食料品」、「ニット」、「窯業・土石」、「プラスチック」
- ・わずかに改善・・・「木材・木製品」、「金属」
- ・横ばい・・・・・・・・「織物」、「鉄鋼・非鉄」、「一般機械」、「電気機器」
- ・わずかに悪化・・・「酒造」、「縫製」、「印刷」、「輸送用機器」、「精密機器」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・・・・・・「縫製」、「プラスチック」
- ・わずかに改善・・・「食料品」、「酒造」
- ・横ばい・・・・・・・・「ニット」、「木材・木製品」、「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「電気機器」
- ・わずかに悪化・・・「印刷」、「一般機械」、「輸送用機器」、「精密機器」
- ・悪化・・・・・・・・「織物」

「生産工程の人材を募集しても応募が少ないため、技術の継承が難しくなる。運送費の高騰により全ての資材が値上げしてしまう。」、「震災復旧工事終了に伴い出荷量の減少が大きい。常磐道四車線化工事着工の遅れから、まだ出荷量が伸びず今年下期に期待したい。」、「建設業界の受注減の傾向が気になります。我々の製造業も落ち着いて来た様に思われます。」、「人員不足対策として自動化を進めたいが、設備の切替に伴う原価の上昇が怖くてなかなか踏み切れない。」との声があった。

建設業

採算・資金繰りで横ばい、業況・売上でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・横ばい・・・・・・・・「建築」
- ・わずかに悪化・・・「土木」

〈採算〉

- ・わずかに改善・・・「建築」
- ・わずかに悪化・・・「土木」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「土木」
- ・横ばい・・・・・・・・「建築」

【3ヵ月先見通し】

業況・採算・資金繰りで横ばい、売上でわずかに悪化を見通している。

〈業況〉

- ・横ばい・・・・・・・・「土木」、「建築」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「建築」
- ・横ばい・・・・・・・・「土木」

「入札制度に問題あるため、中小業者は廃業に進むだろう。」、「増税対策を知りたい。(前回の増税時の売上は前年比▲40%になった)」、「ここ3～4年で公共工事の減少が予想され、今後の受注、完工高に影響あると思われる。」との声があった。

卸売業

採算で横ばい、業況・売上・資金繰りでわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「鮮魚」、「その他」
- ・わずかに改善・・・「衣服」
- ・横ばい・・・・・・・・「青果物」
- ・わずかに悪化・・・「建築材料」
- ・悪化・・・・・・・・「飲食料」、「機械器具」

〈採算〉

- ・改善・・・「鮮魚」
- ・わずかに改善・・・「衣服」、「建築材料」、「その他」
- ・横ばい・・・「青果物」
- ・わずかに悪化・・・「飲食料」、「機械器具」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「鮮魚」、「建築材料」
- ・横ばい・・・「機械器具」
- ・わずかに悪化・・・「衣服」、「青果物」、「その他」
- ・悪化・・・「飲食料」

【3ヵ月先見通し】

業況・売上ではわずかに改善、採算・資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・わずかに改善・・・「飲食料」、「機械器具」、「建築材料」
- ・横ばい・・・「衣服」、「青果物」、「鮮魚」
- ・わずかに悪化・・・「その他」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・「その他」
- ・わずかに改善・・・「衣服」、「建築材料」
- ・横ばい・・・「飲食料」、「青果物」、「鮮魚」
- ・わずかに悪化・・・「機械器具」

「大手企業との人材争奪戦や派遣賃金が高く、地場産業は苦戦している。また、人件費の高騰が単価に反映出来ない。」、「風評被害は依然と続き、東北電力の補償金の打ち切りで資金繰りが悪化している。」、「地方卸売業の立場が厳しくなりつつある。中小小売店が益々減少し大型店同士の競争が熾烈になり、価格その他の面で卸売業への要求の厳しさが増してきている。」といった声があった。

小売業

資金繰りで横ばい、業況・売上・採算でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・わずかに改善・・・「衣料」
- ・横ばい・・・「飲食料」
- ・わずかに悪化・・・「家電品」、「自動車販売」、「家具・建具」
- ・悪化・・・「中小スーパー」、「その他」

〈採算〉

- ・わずかに改善・・・「衣料」、「家電品」
- ・横ばい・・・「自動車販売」
- ・わずかに悪化・・・「飲食料」、「家具・建具」、「その他」
- ・悪化・・・「中小スーパー」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「飲食料」、「家電品」、「その他」
- ・横ばい・・・「中小スーパー」、「衣料」、「自動車販売」
- ・悪化・・・「家具・建具」

【3ヵ月先見通し】

業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・大幅改善・・・「中小スーパー」
- ・改善・・・「飲食料」、「家電品」、「自動車販売」
- ・わずかに改善・・・「その他」
- ・横ばい・・・「衣料」
- ・わずかに悪化・・・「家具・建具」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・・・・・・「中小スーパー」
- ・わずかに改善・・・「飲食料」
- ・横ばい・・・・・・・・「衣料」、「自動車販売」
- ・わずかに悪化・・・「家電品」、「家具・建具」、「その他」

「風評被害がまだ根強くある。」、「道の駅が相次ぎ開業して過剰と思われる。大手の値下げ販売で競争にもならない。」、「福島市の環境は復興需要が終わり悪化する予想です。当社は商談会に積極的に参加して売上を伸ばしていますが利益の増加は難しいです。」、「商店街は週休2日が多くなり街の中に人が来なくなっている。また閉店も続いている状況にあり、目的ある客だけでフリーの客の来店がない。」といった声があった。

サービス業

業況でわずかに改善、売上・資金繰りで横ばい、採算でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「タクシー」
- ・わずかに改善・・・「自動車整備」、「その他」
- ・横ばい・・・・・・・・「観光旅館」、「運送」、「情報サービス」

〈採算〉

- ・わずかに改善・・・「運送」、「自動車整備」
- ・わずかに悪化・・・「観光旅館」
- ・悪化・・・・・・・・「タクシー」、「情報サービス」、「その他」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「観光旅館」、「運送」、「その他」
- ・横ばい・・・・・・・・「自動車整備」
- ・わずかに悪化・・・「タクシー」、「情報サービス」

【3ヵ月先見通し】

業況・採算・資金繰りでわずかに改善、売上で横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「情報サービス」
- ・わずかに改善・・・「タクシー」、「自動車整備」
- ・横ばい・・・・・・・・「運送」、「その他」
- ・わずかに悪化・・・「観光旅館」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・・・・・・「タクシー」
- ・わずかに改善・・・「自動車整備」
- ・横ばい・・・・・・・・「観光旅館」、「運送」、「情報サービス」、「その他」

「人手不足。」、「売上が減少しています。タクシー利用者が高齢化しているので販売単価が伸びません。厳しくなっています。」、「軽油、ガソリンの価格が高い。」、「設備の老朽化による設備投資額が高額になり資金繰りが悪化している。」、「震災特需がピークアウトした後に、どうやって安定経営を確保するかが課題です。」、「福島県内の景気は伸び悩んでいる。」といった声があった。

2 中小企業景況レポート（福島県中小企業団体中央会）6月分

食品製造業

（1）漬物：残業時間の短縮、定年延長、最低賃金の引上げ等、中小企業にとっては厳しい環境が続いている。また、原油高による電気料金、ガソリン代、重油代、プラスチック類等の値上げが続き、収益を圧迫している。

（2）味噌醤油：味噌醤油の主原料である加工米が値上げの兆候。31年産米の価格が大幅アップ。4月以降、容器等物流関連の人員不足と燃料の急騰による現状にある。

（3）菓子：北海道の水害により作付面積が減っている小豆など菓子用の豆類が大打撃を受ける恐れがある。業界の努力だけでは対応できないため、政府の対応を求める時期にきている。

（4）乾麺：好天候が続き出荷量、売上共に増加したものの、原材料や人件費の上昇により経費が増加。収益を圧迫している。

（5）酒造：吟醸酒、純米吟醸酒はやや好調であるが、その他は低調である。時期的に数量が落ち込む時期であるが、小売店のイベント等に協力し、売上げ回復を期待したい。今年の夏もかなり暑くなりそうで、日本酒は苦戦しそうである。

（6）食品団地：消費に関しては大きな変動がなく例年に近い推移であった。また、原油の価格上昇が大きく、収益に大きな影響を与え難しい状況が続いている。

繊維工業

（7）ニット：組合員によって秋冬物の受注差が出ており、稼働率にも大きく影響している状況。

木材・木製品製造業

（8）製材業：原木について、例年に比べ出材は減少。スギ柱取りやスギ母屋取りは、県内外からの引き合いがあり相場は横ばい。製材品について、県外に販路を持つ大手工場は稼働が堅調。県内需要が中心の工場は引き合いが鈍い。復興関連工事や避難解除された地域の新築需要はあるが、県外品の持ち込みもあり県産品の引き合いはあまり反映されていない。

（9）外材輸入：パワービルダーは忙しいようである。材料は少ないが荷動きは多少出てきているので今後の入荷を見据えながらの販売となっている。

紙・紙加工品

(10) 紙器・段ボール箱：最近では人々の暮らしの変化により本業界も変革が必要となっている。

印刷

(11) 印刷業：復興需要の反動もあり、需要の低迷が続いている。各社とも売上確保に苦慮している。

窯業・土石製品

(12) 砕石：相変わらず、先月同様の状況にあり、砕石等の注文が伸びず、昨年出荷数量対比で約30%減少している。

(13) 生コン：

平成30年6月の組合員生コン出荷数量は、151,930 m³と対前年同月比-6.5%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比-1.9%、官公需が-12.0%であった。

○民需の動向

対前年同月比 -1.9%

対前年同月比増加地区

県北地区 : +14.3% 重電メーカー新棟建設、電力会社本館改築工事等

県中地区 : +31.0% マンション新築工事、電機メーカー郡山新工場建設工事等

白河地区 : +3.8% 倉庫建設工事等

会津地区 : +6.8% スーパー建設、こども園建設工事等

対前年同月比減少地区

いわき地区 : -11.4% 製紙会社倉庫増築工事等

相双地区 : -35.9% 常磐道広野区間工事等

○官公需の動向

対前年同月比 -12.0%

対前年同月比増加地区

相双地区 : +33.5% 大熊町新庁舎整備工事、檜葉町屋内体育館新築工事、海岸復旧工事等

対前年同月比減少地区

県北地区 : -57.3% 福島新斎場建築工事、伊達桑折間跨線橋工事等

県中地区 : -39.5% 麓山調整池築造工事、三森3号橋梁下部工工事等

白河地区 : -36.7% 橋梁下部工工事等

いわき地区 : -15.3% 常磐道4車線化工事、小名浜港東港岸壁工事、共立病院新築工事等

会津地区 : -25.7% 城北小学校改築工事、会津美里町庁舎新築工事等

(14) 鉄工工業(県中) : 盆前後の出荷に合わせた駆け込み物件が出ているが、各社とも加工能力オーバーのため引き受けられないケースがある。大手建設会社は、先を見越して下請けを確保するが、地元業者はそれができない。

(15) 各種プラント機器: プラント設備関連業界は、先月からの集中定修工事が一段落したため、売上高が前月比36%と大幅な減少に転じた。しかし、前年同月比で46%の増、前年累計比でも20%増と良好な展開を見せたが、売上高の大幅な減少が気になるところである。

その他の製造業

(16) 漆器: 6月は動きの少ない静かな月であった。消費税の増税以来、前年売上をなかなかクリアできない。

卸売業

(17) 米麦: 米穀の販売単価は昨年より上り、売上高は増えた。

小売業

(18) 共同店舗(ショッピングセンター): 売上高・来店客ともに、前月比・前年比で減少。物販・飲食とあるが物販は衝動買いが少なく厳しい売上。飲食は、週末で売上を戻している状況。

(19) 石油: OPECの増産により原油価格も下落すると思われたが米国のイラク制裁強化により原油価格が上昇。国内石油製品も再び上昇に転じた。価格の上昇は、消費者の買い控えを誘発し、販売量を減少させている。

(20) 青果: 梅の取扱いも始まったが、昨年に比べ梅の単価が安値で推移し、梅を漬ける消費者も減ってきている為、取扱高の減少となった。来月から桃の取扱いも始まるが、今年は気温が極端に暑くなったり雨が少なかったりと、取扱いにどう影響するのか不安である。

(21) 家電: 6月後半の猛暑でエアコンの動きが良くなっている。テレビ関連は動きが悪い。これから4K、8Kのテレビが出始めると動きも良くなると思う。

(22) 水産物: 市場の入荷も少なく全体的に低調。7月は土用丑の日があるので予約注文のPRに努めている。

商店街

(23) 商店街(福島市) : 来街者数、売上等は昨年とほぼ同じ状況であるが、人の動き方は変化した感がある。昨年は前半がやや好調で、後半から長く低調な日々が始まった。一方、今年は逆に低調な1年から好調に転ずるかのようを感じる月後半であった。市民の動きは変化無しに感じるが、県外からの法人関係の方々が来県されていたよう。

(24) 商店街(郡山市) : 最近では前年並みを保つのが厳しくなっている。商店街は全体的に静かな雰囲気であり活気が出ていない感じがする。

(25) 商店街(南相馬市) : 6月は商店街のイベントもなく、全体的に低調気味。唯一、市街地で開催したナイトバザールが賑わいを見せていた。7月21日より自治体発行のプレミアム商品券が販売開始となる。昨年に続き、2回目となることから購入申込が予定枠以上となっている様子。商店街全体の活性化に結びついていくと思われる。

(26) 商店街(会津若松市) : 天候によって人出が大きく変わり、それに合わせて売上の変動もあり苦労した。夏に向けてアーケードを活用した事業を行いたい。

(27) 商店街(いわき市) : 梅雨時期にも関わらず、雨も少なく夏物を求めるお客様の出足が良かった。しかし、中旬から大きくペースダウン。大型ショッピングモールのオープンにより、週末を中心に来街者が大きく減少している。8月末まではこのような状況が続くと思われる。

サービス業

(28) クリーニング業 : 主力のドライ洗い品が一段落し、売上・利益ともに減少している。3ヶ月(4,5,6月)の春の需要は前年同期を下回った。団塊の世代と若年層のクリーニング離れが深刻である。

(29) 旅館業(いわき湯本) : 福島原発の風評被害で業績が伸びない。

(30) 旅館業(土湯温泉) : 梅雨に入ったもののあまり雨が降らなかったこともあり、ほぼ前年並みの実績で推移している。日帰り入浴観光の伸びが地域の活性化を押し上げている。4/26にリニューアルオープンした公衆浴場も100日で1万人を達成した。6/26には県営あづま球場で日米対抗ソフトボール大会が開催され、その後3泊4日にわたって土湯温泉に日本女子代表チームが滞在してくれた。2020年東京オリ・パラに向けて良い弾みとなった。これからも合宿等の団体を受け入れる温泉地であることをアピールし続けたい。

(31) 理容業：売上、客足ともに出だしは良かったものの、結果的には前年並みの状況となった。暑い日が続いたため夏メニューの出足は良かった。早め早めの提案が功を奏している。梅雨明けすれば暑い日が続くだろうから今後に期待したい。

建設業

(32) 建設業（県南地区）：土木工事は中小規模の工事が少ないため、受注機会に恵まれない地元建設業者が多い。公共建築工事は少ないが、民間建築工事の物件が多少発注されてきている。工場の増築等の物件が増えてきている。住宅建築は減少傾向である。

(33) 管工事：前月比で給水設備申請が増加し、排水設備申請は減少した。前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも減少している。

運輸業

(34) トラック団地（県北地区）：原油価格の上昇が続いており、各組合員ともにコスト増となっている。

(35) ハイヤータクシー：動きがなく静かな月となった。低調傾向がさらに悪化している。

3 景気動向指数(福島県)

概 括

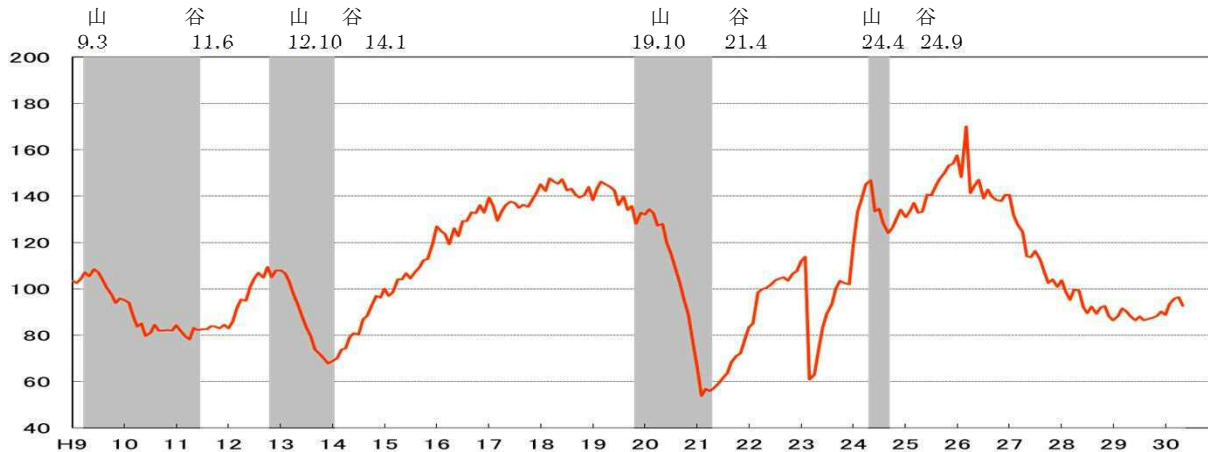
5月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H22年=100)は、先行指数91.5ポイント、一致指数92.7ポイント、遅行指数96.9ポイントとなった。

先行指数は、前月(93.4ポイント)を1.9ポイント下回り、2か月振りの下降となった。

一致指数は、前月(96.4ポイント)を3.7ポイント下回り、4か月振りの下降となった。

遅行指数は、前月(97.3ポイント)を0.4ポイント下回り、2か月振りの下降となった。

図1 景気動向指数(CI)グラフ <一致指数> (H22=100)



※CI(Composite indexes) : 景気変動の勢いや大きさといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

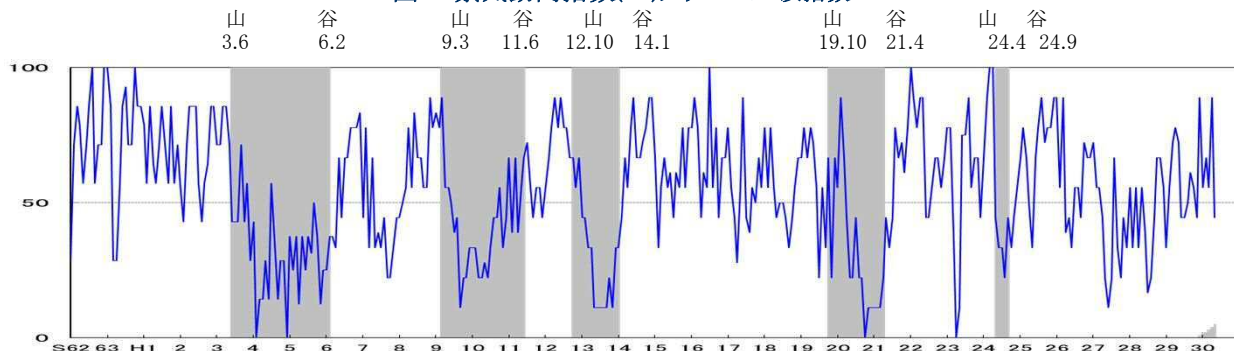
※グラフ上の景気基準日付のうち、シャドウ部分は景気後退期を示している。

CI指数表

区分	景気動向指数(CI指数)					
	福島県(平成30年7月24日公表)			全国(平成30年7月6日公表)(速報値)		
	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
H29年12月	94.3	90.3	97.2	106.6	118.9	117.8
1月	91.8	88.7	98.6	105.7	115.0	117.9
2月	92.4	93.5	98.9	105.9	115.8	118.1
3月	92.1	95.8	95.7	104.5	116.0	118.1
4月	93.4	96.4	97.3	106.2	117.5	117.3
5月	91.5	92.7	96.9	106.9	116.1	118.8
採用指標数	7指標	9指標	6指標	11指標	9指標	9指標
資料	県:統計課「福島県景気動向指数」					
出所	国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

図2 景気動向指数(DI)グラフ <一致指数>



※DI(Diffusion Indexes) : 景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

【景気基準日付設定～第15景気循環～】

本県の第15景気循環の山を「平成24年4月」、谷を「平成24年9月」と設定した。

景気拡張期間は36か月、景気後退期間は5か月となり、全循環は41か月となった。

4 「福島県金融経済概況」

平成30年7月13日 日本銀行福島支店

県内景気は、回復に向けた動きが足踏み状態にある。

【前月からの基調の変化：前月据置】

最終需要の動向をみると、公共投資は、震災からの復興へ向けた取り組みが続く下で高水準にあるものの、大幅に減少している。住宅投資も、減少している。個人消費は、持ち直しの動きが鈍化した状態が続いている。設備投資は、底堅く推移している。

鉱工業生産は、自動車関連や産業用機械向けなどを中心に増加しており、生産活動は全般に繁忙度の高い状況となっている。

雇用・所得環境は、強い人員不足感が続く中、総じてみれば、緩やかに改善している。

先行きについては、震災前に比べて高水準の経済活動は維持されるものの、当面、足踏み状況が続くとみられる。今後とも、復興需要のピークアウトの影響を注視しつつ、県内の生産活動の活発化とその個人消費への波及の状況を点検していくことが必要である。

5 「月例経済報告」

平成30年7月19日 内閣府

景気は、緩やかに回復している。

【前月からの基調の変化：前月据置】

(基調判断)

- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 設備投資は、緩やかに増加している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、緩やかに増加している。
- ・ 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は、着実に改善している。
- ・ 消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。また、平成30年7月豪雨の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

(政策態度)

政府は、東日本大震災からの復興・創生及び平成28年(2016年)熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針2018」、「未来投資戦略2018」、「規制改革実施計画」及び「まち・ひと・しごと創生基本方針2018」及び「ニッポン一億総活躍プラン」を着実に実行する。さらに、人づくり革命と生産性革命を車の両輪として少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、「新しい経済政策パッケージ」及び「人づくり革命基本構想」を着実に実行する。また、今般成立した働き方改革関連法を円滑に施行する。加えて、平成29年度補正予算及び平成30年度予算を迅速かつ着実に実施する。

平成30年7月豪雨による被災者への生活支援及び被災地の復旧・復興を迅速に進める。

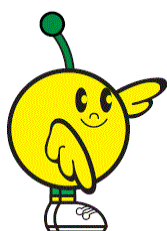
好調な企業収益を、投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大を実現する。

日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。

6 「最近の県経済動向」総合判断

総合判断	判断の 変化方向	6月(6月26日公表)	判断の 変化方向	7月(7月24日公表)
	前月据置 →	県内の景気は、持ち直しの動きが弱まりつつある。	前月据置 →	県内の景気は、持ち直しの動きが弱まりつつある。

「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけます。



ふくしま統計情報BOX

検索

※ 次回公表予定日は 平成30年8月 下旬です。

■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくできるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。さらに、福島県景気動向指数の要点をグラフで示しています。一部の計数は速報値を用いており、確報訂正や遡及改定により、前回発表の計数と相違する場合があります。

また、参考として県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(公財)福島県産業振興センターの中小企業景気動向調査結果(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、福島県統計課『最近の県経済動向』から抜粋(又は作成)した旨を明記してください。

福島県企画調整部統計課

〒960-8043 福島市中町8番2号
電話 024(521)7148 内線 (2430)
FAX 024(521)7892
E-mail toukei@pref.fukushima.lg.jp